

ロータリー財団ハンドブック

2020－2021 年度

国際ロータリー第 2620 地区

第 9 訂版



国際ロータリー第 2620 地区

ロータリー財団委員会

drfc@ri2620.gr.jp

目 次

ロータリー財団と財団活動

ロータリー財団とは	-----	1
ロータリー財団への寄付の種類について	-----	2
ロータリー財団の寄付の行方について	-----	3
寄付と認証	-----	4
昨年の寄付の実績について	-----	15
ポリオプラスについて	-----	17
ロータリー・カードについて	-----	22
ロータリー・カードオンライン申請	-----	23
ロータリー・カード実績	-----	24
補助金の種類について	-----	25
地区補助金	-----	26
プロジェクトの実施について	-----	27
グローバル補助金について	-----	30
地区補助金とグローバル補助金の違い	-----	32
グローバル補助金の実施例	-----	33
焼津ロータリークラブ スリランカ「水設備構築プロジェクト」		
グローバル補助金のその他の実施例	-----	39
グローバル補助金にチャレンジしよう	-----	44
グローバル補助金職業研修チーム	-----	45
グローバル補助金による奨学金	-----	46
ロータリー平和フェローシップ	-----	47
財団学友会『山静学友会』	-----	48

資料集

クラブ別ポールハリス・フェロー及びベネファクター	-----	50
荻原年度地区補助金プロジェクト一覧	-----	51
ロータリー財団財務報告について	-----	53
ロータリー財団重要用語集	-----	55
地区ロータリー財団委員会構成図	-----	59

ロータリー財団の歴史

1917年6月18日、アトランタで開催された第8回ロータリー年次大会で、当時の会長であったアーチC. クランプが、「世界でよいことをするために基金を作るのが、きわめて適切だと思われる。」と演説をしたことが始まりです。

1917年は、まだ第1次世界大戦の真っただ中でした。そんな世界情勢の中で、アーチ・クランプは、未来のロータリーにとってこの基金が必ず必要になると言う強い信念のもと、基金の設立を呼び掛けました。

この基金への最初の寄付は、1917年にカンザスシティーロータリークラブが行なった26ドル50セントでした。このわずか26ドル50セントが、世界をより良くするための何十億ドルと言う財団の布石を敷いたわけです。

その後、1928年にそれまでの「アーチ・クランプ基金」という名前から「ロータリー財団」という名前に変更されました。「ロータリー財団」の正式な名前は「国際ロータリーのロータリー財団」です。5名による管理委員会が設立され、初代の管理委員長にはアーチ・クランプが就任しました。その後も、アーチ・クランプは長期的な視野を持ち、ロータリー財団に反対する勢力から財団を守り、存続と発展のためにその生涯を捧げました。アーチ・クランプは、1951年6月3日、82歳でその生涯を閉じています。

1947年に、ロータリーの生みの親であるポール・ハリスが逝去しました。この時、ポール・ハリスは逝去後に「追悼は献花ではなく財団への寄付」と言うハリスの意思が電報でロータリアンに伝えられました。1951年のアーチ・クランプの逝去とともに、このロータリーにとってかけがえない2人の偉大な大物の逝去によって全世界のロータリアンからたくさんの寄付が寄せられ、この時の寄付が、ロータリー財団の発展に大きく役立てられました。

「世界で良いことをする」ために、その後、多くのプログラムが開始され、ロータリー財団は、世界中のまだ手を差し伸べて行かなければならない人々に、たくさんのあたたかい手を差し伸べてきました。

2013年には、「未来の夢計画」と銘打って、ロータリー財団の新しい補助金システム(地区補助金、グローバル補助金)が構築され、ロータリーの掲げる6つの重点分野を中心に、世界中で行なう多様な奉仕活動に利用できる補助金が誕生しました。

ロータリー財団は、現在、アメリカのイリノイ州の州法に則り登記された非営利法人となっています。ロータリー財団は、現在、4名のRI元会長を含む15名の管理委員と事務総長で運営されています。

今や国際ロータリーとロータリー財団は、切っても切れない存在と言えるでしょう。ロータリーは、このロータリー財団を設立したことによって、新しい奉仕の可能性と手段を手に入れることができました。ロータリー財団は、まさに、ロータリーの土台となっているわけです。

アーチC. クランプが演説をした「世界でよいことをしよう」がロータリー財団の標語となっています。



ロータリー財団の創設者アーチ C. クランプ

ロータリー財団への寄付の種類

ロータリー財団への寄付は、年次基金、恒久基金への寄付および使途指定寄付の3つがあり、それぞれ運用の仕方が異なります。

1. 年次基金

毎年全会員（Every Rotarian Every Year: E R E Y）にお願いしている寄付で、この寄付は3年間資金運用され、その収益がロータリー財団運営や、寄付増進のための費用に充てられます。3年後寄付金のすべてがロータリー財団活動に使われます。

その配分の方法はシェアシステムと呼ばれ、50%が国際的な財団活動のための資金（Word Fund=WF）となり、残りの50%は地区の財団活動のための資金（District Designated Fund=DDF）となります。DDFは私たちの地区でその使途を決め活動ができる資金となります。

国際ロータリーの目標は\$150/人となっておりますが、当地区もそれに倣い\$150/人を目標に掲げています。当地区では、昨年度は\$417,344（約4,465万円）のご寄附を頂いております。1人当たり\$142.00です。

2. 恒久基金

恒久基金への寄付は将来にわたって資金運用され、元金には手は付けられません。運用収益は翌年度の財団活動資金に年次寄付と同様、WFとDDFに50%ずつシェアされます。RIでは恒久基金を2025年までに10億ドルに成長させることを目標としており、達成は可能とみられています。この寄付は地区年次寄付の目標額にはカウントされません。

恒久基金へ\$1,000以上寄付された方をベネファクター（後援者）として認証します。当地区には2020年7月1日で、ベネファクターは累計で629人おられます。昨年度年度の当地区へ配分された恒久基金の収益は\$35,394.14ありました。

将来にわたりロータリー財団の活動を支えるために、大変重要な基金です。

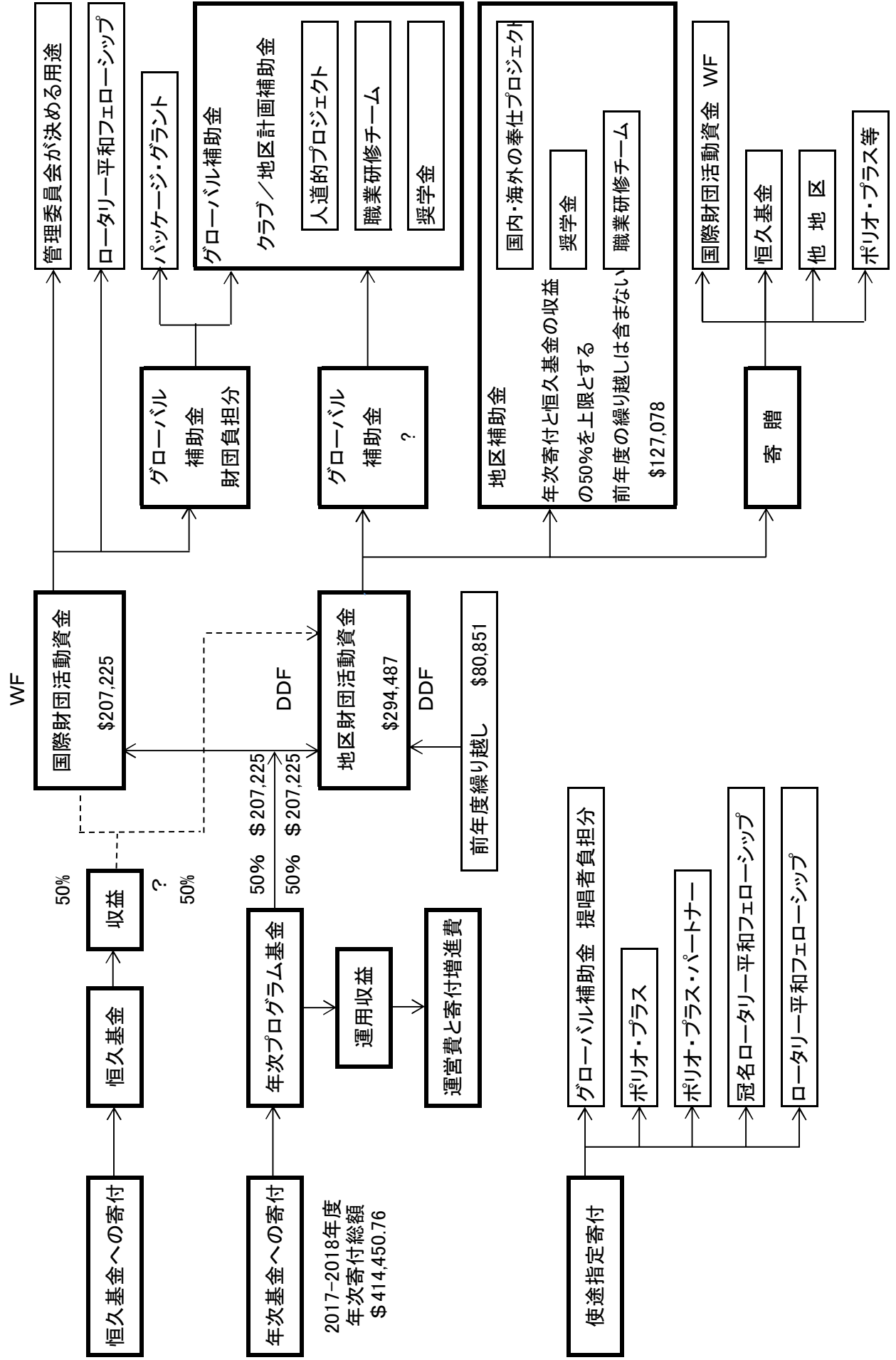
3. 使途指定寄付

プログラムを指定して寄付するものです。ポリオプラスへの寄付や災害復興のための寄付はこれに当たります。この寄付は個人年次寄付の目標額にはカウントされ、ポールハリス・フェローの認証にもカウントされます。

4. 寄付の活用

寄付は財団活動のために集められます。当地区には3年前の年次寄付の50%と、前年度の恒久基金からの収益がDDF（地区財団活動資金）として配分されます。さらにDDFは地区補助金に50%、グローバル補助金に50%配分されます。これに関しては、次頁を参照ください。

ロータリー財団への寄付の行方(2020-2021年度)



寄付と認証

1. 個人の認証

ロータリー財団では、ご寄付に対して感謝の気持ちを表すために、さまざまな認証の機会をご用意しています。個人の認証には以下のようなものがあります。

認証の種類

財団の友	年次基金に毎年100ドル以上寄付された方。
ポール・ハリス・フェロー (PHF) マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (MPHF)	年次基金、ポリオプラス、あるいは財団が承認した補助金に、累計1,000ドル以上寄付された方。その後1,000ドル毎にマルチプル・ポール・ハリス・フェローが授与されます。(認証ポイント含む)
ベネファクター	恒久基金に1,000ドル以上寄付をされた方、または資産計画にロータリー財団を受益者として指定することを書面にてロータリー財団に通知した方。(認証ポイントは含まない)
メジャードナー (MD)	寄付分類に関係なく寄付の累計が10,000ドルに達した個人または夫妻。(認証ポイントは含まない)
アーチ・クランフ・ソサエティ (AKS)	寄付分類に関係なく寄付の累計が250,000ドルに達した個人または夫妻。(認証ポイントは含まない)

認証レベルと認証品

ポール・ハリス・フェロー (PHF) / マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (MPHF) PHF

PHF	\$1,000～	認証状と襟ピン
MPHF 1	\$2,000～	襟ピン (サファイヤ1粒)
MPHF 2	\$3,000～	襟ピン (サファイヤ2粒)
MPHF 3	\$4,000～	襟ピン (サファイヤ3粒)
MPHF 4	\$5,000～	襟ピン (サファイヤ4粒)
MPHF 5	\$6,000～	襟ピン (サファイヤ5粒)
MPHF 6	\$7,000～	襟ピン (ルビー1粒)
MPHF 7	\$8,000～	襟ピン (ルビー2粒)
MPHF 8	\$9,000～	襟ピン (ルビー3粒)

ベネファクター

ベネファクター	\$1,000～	認証状と襟ピン（ウイング）
---------	----------	---------------

メジャードナー（MD. 大口寄付者）

MD レベル1	\$10,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント
MD レベル2	\$25,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント
MD レベル3	\$50,000	クリスタル、襟ピン、ペンダント
MD レベル4	\$100,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント

アーチ・クランフ・ソサエティ（AKS）

AKS レベル 1	\$ 250,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント
AKS レベル 2	\$ 500,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント
AKS レベル 3	\$ 1,000,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント
AKS レベル 4	\$ 2,500,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント
AKS レベル 5	\$ 5,000,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント
AKS レベル 6	\$ 10,000,000～	クリスタル、襟ピン、ペンダント

ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）

PHSは、年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プロジェクトに、一括でも合計毎年 \$ 1,000 以上をご支援される方の認証です。

2. クラブのバナー認証

個人だけでなく、クラブに贈られる認証もあります。認証を受けたクラブには、認証品としてバナーが贈られます。バナー認証は以下の5つとなります。

Every Rotarian, Every Year」クラブバナー

6月30日現在の正会員全員が、年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブに贈られます。

100%ロータリー財団寄付クラブバナー

6月30日現在の正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブに贈られます。

100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ認証バナー

6月30日現在の正会員全員が、一括でも合計でも1年度中に合計1,000ドル以上を寄付したクラブに贈られます。対象となる寄付分類は、年次基金、ポリオプラスおよび財団が承認した補助金プロジェクトです。

年次基金への一人当たりの寄付最上位3クラブ

このバナーは、各地区内で、1年度で一人当たりの年次基金への平均寄付額※が上位3位に入ったクラブに贈られます。資格を得るためには、クラブは一人当たりの平均寄付額が最低50ドルに達していなければなりません。

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ

このバナー認証を受けるには、認証を申し込む時点で、クラブの正会員全員がポール・ハリス・フェローになっていなければなりません。クラブが要件を満たしていることを確認した上で、申請書を提出します。申請書には地区ガバナーとクラブ会長の署名が必要となります。クラブには地区経由でバナーが贈られます。1度限りのこの認証は、年度を通じて随時授与されます。

3. 認証ポイント

認証ポイントは、年次基金・ポリオプラス・財団が承認した補助金プロジェクトへロータリー財団を通じて寄付をした際に、1ドルにつき1ポイント与えられるものです。

寄付者は認証ポイントを移譲して、ほかの人をポール・ハリス・フェロー、またはマルチプル・ポール・ハリス・フェローにすることができます。恒久基金への寄付は認証ポイントの対象とならないことにご留意ください。ご自身には移譲できません。

認証ポイントの確認方法

地区ガバナー、クラブ会長・幹事および、事務局員はMy ROTARYを通じて、クラブ認証概要レポート (Club Recognition Summary) で確認することができます。

個人の寄付者は、My ROTARYのプロフィールから「寄付者履歴レポート」で確認することができます。

認証ポイントの移譲方法

「ポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書」をメールまたは、FAXにて日本事務局までご送付下さい。申請書はMy ROTARYからダウンロードすることができます。

ご記入の際、移譲者本人の直筆署名が必要となります。一度に移譲できるのは100ポイント以上からです。小数点以下も移譲可能です。また、申請書はアルファベット表記で、タイプ入力してください。

ロータリー財団とは



「世界でよいことをするために、」

1917年、第6代会長アーチ・C・クランプがアトランタの国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案。これが、ロータリー財団をつくるきっかけとなった。



アーチ・C・クランプ

ロータリーと財団 奉仕について①



ロータリーの目的：意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励すること。

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

2

ロータリーと財団 奉仕について③



ロータリー：変化をもたらす

ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、**奉仕を行う団体**。



2017-2018
イアン・ライズリー会長

1

ロータリーと財団 奉仕について④



ロータリーの役割は絶えず進化してきました



その初期、会員が親睦と友情を見つけ、地域社会で人々とのつながりを築く方法を提供してまいりました。その後、ほどなくして、ロータリーに奉仕が芽生え、組織の成長と共にその影響も膨らんでまいりました。もともとロータリー財団の支えもあって、**ロータリーの奉仕**は世界中の家族や地域社会の人々の生活を変えていくようになりました。

2018-2019
バリー・ラングン 会長

4

3

ロータリーと財団 奉仕について⑤



ロータリーは世界をつなぐ



2019-2020
マーク・ダニエル・マ
ローニー会長

ロータリーは、ほかの組織にはかなわ
ないものを提供します。それはつまり、
奉仕と平和という精神の下に世界中の
人びとがつながることができることができ、目標に
向かって意義ある行動を起こすことの
できるロータリーのインフラです。

5

ロータリーと財団 奉仕について



ロータリーは機会の扉を開く



2020-21年度
ホルガー・クナー
会長

ロータリーは、**奉仕**プロジェクトを実施し、
やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、
意義があり、持続可能なプロジェクトです。
ロータリーでは、寄付だけでなく、**奉仕活動**
もを行い、その**奉仕**がもたらす持続可能なイン
パクトをこの目で見ることができます。これ
は、他にはない機会です。

6

プロジェクト活動のリソース



アイデア



人材



資金



ロータリー財団

ロータリーの活動に対して有効的な資金の確保と活用

徹底した資金管理

独自の資金モデル

慈善目的の使用

7

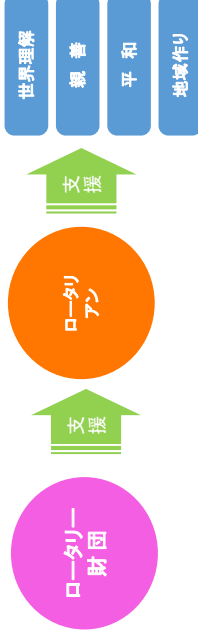
ロータリー財団



ロータリーは**奉仕する団体**
(ロータリーが社会的価値の高い団体でありつづける為)

奉仕活動には**資金が必要**

資金を集め再配分するのが**ロータリー財団**



8

国際ロータリーとロータリー財団の対比

	国際ロータリー	ロータリー財団
使命	職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高深さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進すること	健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること
構成員	世界の各ロータリークラブ	国際ロータリー
資金の源泉	会員の会費(職務)	寄付(任意)
資金の使途	国際ロータリーの運営	ポリオ撲滅、ロータリー平和センター、グローバル補助金、地区補助金など
プログラム上の制約	特別なものはない(例: 青少年交換、ライラ等)	会員及び会員の親族は受益者になれない
収入規模	1億1320万ドル(2018-19年度予算)	3億6051万ドル(2018-19年度決算)

ロータリー財団の正式名称は、The Rotary Foundation of Rotary International(TRF)

9

地区財団委員会の役割

- 各クラブへロータリー財団の理解を深め、理念を伝える **(財団への理解推進)**
- 財団の補助金を各クラブの奉仕事業に有効に使うサポートをする。**(奉仕事業のサポート)**
- ロータリー及び財団の奉仕事業の発展のため、各クラブより寄付を募る**(資金をあつめる)**



10

委員会活動 資金開発:3つの基金

年次基金

毎年全会員(Every Rotarian Every Year)に、お願ひする基金。3年運用し、その全てが事業に使われる。

恒久基金

元金を使わず、運用収益を翌年度の活動に使用。

使途指定寄付

ポリオプラスや災害復興等プログラムを指定する寄付。

11

年次基金運用



1万円寄付

3年間投資



DDF (District Designated Fund)

地区財団活動資金
我々のクラブや地区で使えます

WF (World Fund)

国際財団活動資金・グローバル補助金の上乗せに使います

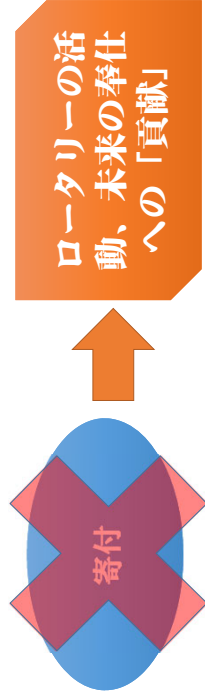
分け合いますのでこれを「シェアシステム」と呼びます。

12

ロータリー財団の寄付とは



ロータリー財団への寄付の対象は「不特定」ではなく
「未来のロータリーの奉仕活動」



17

2019-2020年度 ロータリー財団地区実績

1. 財団への寄付の実績

- 年次基金総額: \$ 417,345 \$ 142.0 / 人
(目標: \$150 / 人 あと一歩)
- 恒久基金: \$ 100,450
(目標達成)
- ポリオプラス他: \$ 74,661 \$ 25.4 / 人
(目標: \$ 30 / 人 あと一歩)

18

2019-2020年度 ロータリー財団地区実績

2. 財団 資金活用実績

地区で使用可能なDDF		使用実績
3年前の年次寄付の50%	\$213,636	地区補助金 \$129,173
恒久基金の収益の50%	\$35,394	人道的プロジェクト \$90,000
前年度繰越	\$34,993	奨学金1件 \$25,000
		ポリオプラス基金へ \$20,000
		平和フェロー基金へ \$20,000
合計	\$284,024	合計 \$203,173

※コロナの影響で地区補助金申請を7クラブほどキャンセル。地区でフェイズインシールド寄付
※人道的プロジェクト4件、奨学生プログラム2件合計 \$65,000が従年度での使用

19

寄付と認証

寄付への感謝→認証となり、ピン等が送られる。

個人

- 財団の友
- ポール・ハリス・フェロー
- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- ベネファクター
- 大口寄付者
- アーチ・クラフ・ソサエティ
- ポール・ハリス・ソサエティ

クラブ

- 「Every Rotarian, Every Year」クラブバナー
- 100% ロータリー財団寄付クラブバナー
- 100% ポール・ハリス・ソサエティクラブ認証バナー
- 100% ポール・ハリス・フェロー・クラブクラブ認証バナー
- 年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

20

個人寄付の認証



財団の友

年次基金に毎年1,000ドル以上寄付された方

ポール・ハリス・フェロー

年次基金・ポリオプラス・WF等へ累計1,000ドル以上の寄付。またこれほさらに累積することができる(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

ベネファクター

恒久基金へ1,000ドル以上の寄付

大口寄付者

寄付分類に関係なく累計が1,000ドルに達した方。

アーチ・クラフ・ソサエティ

寄付分類に関係なく累計が25万ドルに達した方。

ポール・ハリス・ソサエティ

毎年1,000ドルの寄付

21

クラブの認証



「Every Rotarian, Every Year」クラブバナー

正会員全員が、年次基金25ドル以上、一人当たりの平均寄附額が100ドルに達しているクラブに贈られます。

100%ロータリー財団寄付クラブバナー

正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの平均寄附額が100ドルに達しているクラブに贈られます。

100%ポール・ハリス・ソサエティクラブ認証バナー

正会員全員が、1年度中に合計1,000ドル以上を寄付したクラブに贈られます(対象:年次基金、ポリオプラスおよび財団が承認した補助金プロジェクト)

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ認証バナー

正会員全員がポール・ハリス・フェローのクラブ(1,000ドル以上寄付)に贈られます。

年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

各地区内で、1年度で一人当たりの年次基金への平均寄附額が上位3位に入ったクラブに贈られます(一人当たり平均寄附額最低50ドル)

22

個人寄付の認証



財団の友

年次基金に毎年1,000ドル以上寄付された方

ポール・ハリス・フェロー

年次基金・ポリオプラス・WF等へ累計1,000ドル以上の寄付。またこれほさらに累積することができる(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

ベネファクター

恒久基金へ1,000ドル以上の寄付

大口寄付者

寄付分類に関係なく累計が1,000ドルに達した方。

アーチ・クラフ・ソサエティ

寄付分類に関係なく累計が25万ドルに達した方。

ポール・ハリス・ソサエティ

毎年1,000ドルの寄付

21

資金をあつめる 寄付募集



□ 年次基金 \$150/人

□ 恒久基金 ベネファクター1名 \$1,000/クラブ

□ ポリオプラス基金 \$30/人

□ ロータリーカードの加入推進

□ 寄付ゼロクラブ ゼロ

23

冠名基金について



25,000ドル以上を恒久基金に寄付した方は、オリジナルの名を冠した基金を設立できます。すべての寄付金は運用されますが、各基金は会計上個別に扱われます。毎年基金の財務状況に関する報告が送付されます。

当地区には「2620地区富士山ロータリー平和センター基金」
(2620地区の冠名基金)(2014-15年より)があります

Donor	Name of Fund	Restriction	Gift Value*	Market Value*
District 2620	RID 2620 Mt. Fuji Rotary Peace Center Endowed Fund	Rotary Peace Centers General Support	\$75,000.00	\$77,892.63

2020年6月30日時点集計

設立してから毎年20,000ドルから25,000ドル2620地区のDDFより寄附しています。
この運営益は平和フェローの運営に役立てられます。

24

寄付の税制上の優遇措置



ロータリー日本財団への寄付金は、所得税、法人税、相続税および条例により地方税の優遇が受けられます。



法人での寄付もこの優遇措置がうけられますので、会社・個人の方にはご協力をお願いいたします。

25

奉仕活動をサポート



地区補助金

- ① 配分基準・総事業費の50%を上限。クラブの会員数により、上限額を次の通りとする。
 ・20名以下のクラブ………10万円
 ・21名以上50名以下のクラブ………20万円
 ・51名以上70名以下のクラブ………30万円
 ・71名以上80名以下のクラブ………40万円
 ・91名以上のクラブ………50万円
 ② 報告締め切り5月15日（遅れる場合は相談ください）

グローバル補助金の推進

- ① 人道的プロジェクト：随時
- ② 奨学金：8月～10月募集
- ③ 職業研修チーム（VTT）

ポリオプラス

- ① 世界ポリオデーでの各クラブへのイベントの促進
- ② ポリオ関連販促物使用の推進

平和フェロেশニップ

募集を強化

山静学友会

活動の広報強化・クラブとの連携強化

26

ロータリー財団の奉仕事業の方向性



世界でよいことをしよう
 ロータリー財団の使命
 救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること



6つの重点項目（優先事項）
 ① 平和構築と紛争予防 ② 疾病予防と治療 ③ 水と衛生
 ④ 母子の健康 ⑤ 基本的教育と識字率向上 ⑥ 地域社会の経済発展

25

ロータリー財団の奉仕事業の方向性



6つの重点項目（優先事項）
 ① 平和構築と紛争予防 ② 疾病予防と治療 ③ 水と衛生
 ④ 母子の健康 ⑤ 基本的教育と識字率向上 ⑥ 地域社会の経済発展

ロータリー月間と6つの重点項目

ロータリー特別月間	
7月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間
9月	基本的教育と識字率向上月間
10月	地域社会の経済発展月間(米山月間)
11月	ロータリー財団月間
12月	疾病予防と治療月間

27

6つの重点項目

9月 基本的教育と識字率向上

- Problem 世界で5,700万人の子供が学校に通っていない
 ●16歳以上7億8,100万人は識字率が低い
 ●世界で初等教育のため170万人の教師が必要
- Action 備品寄贈・プログラム作成・環境改善 他

10月 地域社会の経済発展

- Problem 世界で14億人が1日1ドル25セント以下の生活
 ●1億9,000万人が小口融資を利用
- Action 職業訓練・機材物資の提供・金融構築 他

12月 疾病予防と治療

- Problem 世界人口の6人に1人が医療費を払えない
 ●医療費の負担によって、毎年1億人が貧困生活
 ●世界で240万人の医師、看護師が不足
- Action 予防接種・医師への奨学金・設備補助 他

2月 平和構築と紛争予防

- Problem 紛争や出稼によって5,100万人が難民生活
 ●18歳未満の子供も30万人が少年兵として紛争に
 ●毎年20,000人が地雷で手足や命を奪われる
- Action ボランティア・仲立支援・難民支援 他

3月 水と衛生月間

- Problem きれいな飲み水を7億4,800万人利用できない
 ●衛生的なトイレや水設備を25億人利用できない
 ●安全な水の欠如で毎日1,400人の子どもが死亡
- Action 衛生設備・浄水器運送・井戸やフィルター設置 他

4月 母子の健康月間

- Problem 医療の不備等で5歳未満は630万人亡くなる
 ●産科を営む女性で2億2,200万人が安全な避
 妊法を利用できない
- Action ワクチン提供・栄養の教育 他

6つの重点分野

28

地区財団委員会の本年度目標



1.各クラブのサポート体制の強化

- ・地区委員会と各クラブの連携をより強め、使いやすい財団委員会を目指す。
- ・グループ担当者を、各クラブの財団委員長をサポート

2.財団活動の発信強化

- ・地区補助金事業のHPによる発信
- ・地区大会においての、パネルにて奉仕事業のパネル発信

3.グローバル補助金への取り組み

- ・グローバル補助金の理解の強化
- ・クラブへの参加促進

29

1.各クラブのサポート体制の強化



- ・地区委員会と各クラブの連携をより強め、使いやすい財団委員会を目指す。
- ・グループ担当者を、各クラブの財団委員長をサポート

●グループ別担当委員制

	補助金小委員長	委員長
【静岡50担当】	森田英貴(浜松南)	委員長
【静岡40担当】	中村幸夫(焼津南)	副委員長
【山梨20担当】	中川則昭(甲府北)	副委員長
【静岡30担当】	野木秀明(静岡西)	委員
【山梨10担当】	渡辺康一郎(大月)	委員
【静岡10担当】	高木基(三島)	委員
【山梨30担当】	小野隆(南アルプス)	委員
【静岡20担当】	大澤能孝(富士宮)	委員

財団についてのサポートや情報交換等
各クラブの財団委員長と連携を取っていきます。

30

2.財団活動の発信強化



- ・地区補助金事業のHPによる発信
- ・地区大会においての、パネルにて奉仕事業のパネル発信
- 皆様のクラブの地区補助金事業を報告書を元にHPにて発信
奉仕活動の共有をする事により、アイデアの構築等に役立つ
- 地区大会においては、まだ広まっていない「グローバル補助金」の事例
について、パネル展示。委員会メンバーによる説明も行う
- 財団学友についても、情報の発信を行う
- ・ポリオプラス活動による発信強化
- ポリオデーでのポリオプラス活動の推進

31

スケジュール

1. **財団セミナー**
2020年7月19日(曜日) 静岡グランシップ
2. **財団月間**
11月 本年度も卓話を積極的にまいります
3. **グローバル補助金**
①人道的プロジェクト随時
②奨学金:8月～10月募集 11月面接
4. **世界ポリオデー**
10月24日

32

2019-2020年度ロータリー財団クラブ別寄付の実績（修正）

G	クラブ名	会員数	年次基金	1人当り	恒久基金	ポリオ他基金	合計
静岡第1グループ	伊東	31	\$2,400.00	\$77.42	\$1,000.00	\$513.69	\$3,913.69
	三島	44	\$6,500.00	\$147.73	\$0.00	\$1018.18	\$7,518.18
	下田	21	\$3,160.00	\$150.48	\$0.00	\$630.00	\$3,790.00
	熱海南	11	\$1,320.00	\$120.00	\$0.00	\$436.46	\$1,756.46
	伊豆中央	23	\$2,500.00	\$108.70	\$0.00	\$750.00	\$3,250.00
	三島西	47	\$4,000.00	\$85.11	\$1,000.00	\$0.00	\$5,000.00
	伊東西	50	\$4,100.00	\$82.00	\$1,000.00	\$557.93	\$5,657.93
	網代多賀	4	\$127.77	\$31.94	\$0.00	\$0.00	\$127.77
	せせらぎ三島	35	\$3,300.00	\$94.29	\$0.00	\$0.00	\$3,300.00
静岡第2グループ	沼津	47	\$4,555.62	\$96.93	\$1018.52	\$980.42	\$6,554.56
	富士山吉原	68	\$10,940.00	\$160.88	\$1,000.00	\$3,090.00	\$15,030.00
	沼津北	63	\$9,450.00	\$150.00	\$1,000.00	\$2,568.50	\$13,018.50
	富士	35	\$3,100.00	\$88.57	\$1,000.00	\$930.00	\$5,030.00
	富士宮	33	\$5,100.00	\$154.55	\$1000.00	\$0.00	\$6,100.00
	御殿場	56	\$5,046.84	\$90.12	\$1,008.65	\$113.36	\$6,168.85
	沼津柿田川	9	\$583.33	\$64.81	\$0.00	\$170.17	\$753.50
	裾野	13	\$3,000.00	\$230.77	\$1,000.00	\$703.17	\$4,703.17
	長泉	25	\$3,750.00	\$150.00	\$0.00	\$1,152.35	\$4,902.35
	富士宮西	30	\$3,828.21	\$127.61	\$0.00	\$0.00	\$3,828.21
	新富士	24	\$2,541.74	\$105.91	\$1,000.00	\$680.05	\$4,221.79
	沼津西	29	\$4,350.00	\$150.00	\$1,000.00	\$838.38	\$6,188.38
	静岡第3グループ	静岡	107	\$36,649.84	\$342.52	\$0.00	\$676.44
清水		52	\$8,342.59	\$160.43	\$1,000.00	\$1651.26	\$10,993.85
静岡東		46	\$5,880.00	\$127.83	\$1,000.00	\$2,315.02	\$9,195.02
清水北		24	\$2,977.78	\$124.07	\$0.00	\$61.28	\$3,039.06
静岡南		17	\$165.00	\$9.71	\$0.00	\$632.44	\$797.44
駿河		21	\$1,900.00	\$90.48	\$0.00	\$740.50	\$2,640.50
静岡日本平		40	\$4,192.59	\$104.81	\$0.00	\$1,304.35	\$5,496.94
静岡西		33	\$4,950.00	\$150.00	\$1,000.00	\$1,291.26	\$7,241.26
清水西		42	\$2,150.00	\$51.19	\$1,000.00	\$61.26	\$3,211.26
静岡中央		44	\$6,750.00	\$153.41	\$1,000.00	\$1,827.72	\$9,577.72
清水中央		37	\$5,550.00	\$150.00	\$1,000.00	\$1215.09	\$7,765.09
静岡北		33	\$5,734.58	\$173.78	\$0.00	\$380.32	\$6,114.90
静岡第4グループ	焼津	52	\$8,400.00	\$161.54	\$4,888.89	\$1,876.11	\$15,165.00
	島田	52	\$5,200.00	\$100.00	\$1,000.00	\$296.30	\$6,496.30
	磐田	35	\$5,077.78	\$145.08	\$0.00	\$432.70	\$5,510.48
	藤枝	40	\$4,800.00	\$120.00	\$0.00	\$1119.42	\$5,919.42
	掛川	35	\$4,353.00	\$124.37	\$0.00	\$402.02	\$4,755.02
	焼津南	35	\$3,780.00	\$108.00	\$1,000.00	\$529.47	\$5,309.47
	榛南	33	\$4,800.00	\$145.45	\$2,018.52	\$1,321.33	\$8,139.85
	袋井	45	\$4,073.96	\$90.53	\$0.00	\$1,835.00	\$5,908.96
	藤枝南	49	\$5,100.00	\$104.08	\$1,000.00	\$490.46	\$6,590.46
	掛川グリーン	19	\$2,167.00	\$114.05	\$0.00	\$830.00	\$2,997.00

2019-2020年度ロータリー財団クラブ別寄付の実績（修正）

G	クラブ名	会員数	年次基金	1人当たり	恒久基金	ポリオ他基金	合計
静岡第5グループ	浜松	89	\$14,445.00	\$162.30	\$1,000.00	\$3,363.89	\$18,808.89
	浜松東	59	\$9,550.00	\$161.86	\$1,000.00	\$1,800.00	\$12,350.00
	浜松南	81	\$13,063.00	\$161.27	\$0.00	\$2,693.82	\$15,756.82
	浜松北	45	\$6,434.58	\$142.99	\$1,000.00	\$1,900.00	\$9,334.58
	浜松西	51	\$8,250.00	\$161.76	\$1,000.00	\$1,794.06	\$11,044.06
	浜北	63	\$7,620.00	\$120.95	\$1,000.00	\$2,060.00	\$10,680.00
	浜名湖	43	\$7,300.93	\$169.79	\$1,000.00	\$2,595.39	\$10,896.32
	浜松中	48	\$7,500.00	\$156.25	\$0.00	\$1,518.52	\$9,018.52
	浜北伎倍	17	\$2,400.00	\$141.18	\$0.00	\$581.85	\$2,981.85
	浜松ハーモニー	35	\$5,492.59	\$156.93	\$1,000.00	\$1,172.59	\$7,665.18
	パワー浜松	76	\$12,196.30	\$160.48	\$0.00	\$2,848.13	\$15,044.43
山梨第1グループ	甲府	111	\$26,979.63	\$243.06	\$55,259.26	\$4,680.00	\$86,918.89
	富士吉田	59	\$9,333.52	\$158.20	\$1018.52	\$2,472.64	\$12,824.68
	大月	18	\$3,031.67	\$168.43	\$1000.00	\$189.59	\$4,221.26
	都留	40	\$200.00	\$5.00	\$0.00	\$489.70	\$689.70
	河口湖	29	\$2,842.58	\$98.02	\$1,000.00	\$153.84	\$3,996.42
	富士吉田西	44	\$6,970.00	\$158.41	\$1,000.00	\$1,406.15	\$9,376.15
	山中湖	17	\$185.19	\$10.89	\$0.00	\$207.54	\$392.73
山梨第2グループ	甲府北	22	\$2,700.00	\$122.73	\$1,000.00	\$611.00	\$4,311.00
	山梨	49	\$8,009.00	\$163.45	\$3,000.00	\$1856.79	\$12,865.79
	塩山	9	\$1,260.00	\$140.00	\$0.00	\$0.00	\$1,260.00
	甲府西	34	\$4,200.00	\$123.53	\$1,000.00	\$664.30	\$5,864.30
	甲府東	25	\$2,885.19	\$115.41	\$1,146.83	\$0.00	\$4,032.02
	甲府シティ	43	\$4,186.70	\$97.37	\$1,000.00	\$353.60	\$5,540.30
	甲府城北	7	\$93.33	\$13.33	\$0.00	\$0.00	\$93.33
	甲斐	15	\$2,250.00	\$150.00	\$0.00	\$1280.56	\$3,530.56
山梨第3グループ	甲府南	70	\$10,643.46	\$152.05	\$1,000.00	\$735.81	\$12,379.27
	笛吹	32	\$4,800.00	\$150.00	\$1,000.00	\$0.00	\$5,800.00
	市川大門	11	\$1538.18	\$139.83	\$0.00	\$0.00	\$1538.18
	南アルプス	15	\$1,394.77	\$92.98	\$1,000.00	\$451.78	\$2,846.55
	身延	11	\$909.10	\$82.65	\$90.91	\$265.74	\$1,265.75
	韮崎	14	\$3,586.00	\$256.14	\$1000.00	\$820.37	\$5,406.37
	北杜	15	\$1,800.00	\$120.00	\$0.00	\$167.00	\$1,967.00
	山梨中央	11	\$1,650.00	\$150.00	\$0.00	\$438.77	\$2,088.77
	甲斐シティー	26	\$2,900.00	\$111.54	\$1000.00	\$0.00	\$3,900.00
	甲斐の郷	16	\$2,050.00	\$128.13	\$1,000.00	\$426.42	\$3,476.42
第2620地区	0	\$46.30		\$0.00	\$1914.14	\$1960.44	
合計	2,939	\$417,344.65	\$142.00	\$107,450.10	\$78,336.40	\$603,131.15	

ポリオとは

- 「脊髄性小児麻痺」とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する疾病。子ども(特に5歳以下)がかかることが多く、手足の筋肉や呼吸する筋肉等に作用して麻痺を生じる。主に感染した人の便を介してうつる。
- 永続的な後遺症を残すことがあり、特に成人では亡くなる確率も高い。
- ワクチン接種により、99%の方が十分な抗体を獲得すると報告されています。

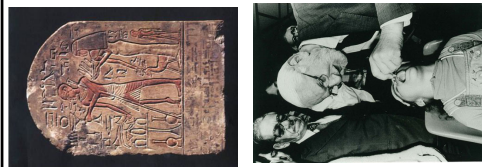
2



ポリオプラスについて

2020年7月19日
2020-2021 2620地区 ポリオプラス小委員会
委員長 山口 勝義

1



ポリオの歴史(人類とポリオは3000年以上戦っている)

- 紀元前1350年頃エジプトの壁画にポリオの後遺症の絵。
- 1905年:ポリオは感染症であり、無症状もいる事がわかる。
- 1908年:ウィーンの2人の医師、ポリオがウイルス感染による病気であることを発表。
- 1916年:ニューヨーク市でポリオ大流行、2,000以上死亡。米国内全土で約6,000人が命を落とし、数千人がまひ障害。
- 1929年:ポリオによるまひで呼吸不全となった患者のために「鉄の肺」と呼ばれる人工呼吸器が発明される。
- 1955年:ジョナス・ソーク博士が開発したワクチンが「安全で効果的である」と宣言される。
- 1960年:アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンが米国政府から認可される。



3

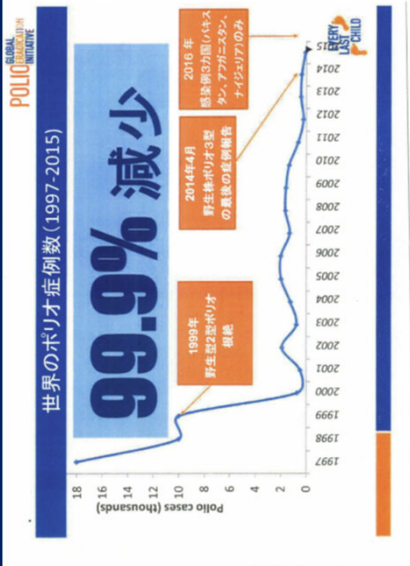
ロータリーとポリオの戦い(40年以上の戦い)

- 1979年:ロータリーがフィリピンの600万人以上の子供ポリオワクチンを購入・輸送。
- 1985年:民間公共保健の取組として史上初の「ポリオプラス」開始。当初募金目標1億2000万ドル。
- 1988年:国際ロータリーと世界保健機関(WHO)が「世界ポリオ根絶推進活動」(GPEI)を立ち上げる。当時の症例数は、125カ国推定35万件以上。
- 1994年:南北アメリカ大陸からポリオが根絶。
- 1995年:中国とインドで、わずか1週間で1億6500万人の子供にワクチン投与。「ポリオプラス・パートナー」プログラムを立ち上げる。
- 2000年:5億5000万人(世界人口の10分の1近く)の子供に経口ポリオワクチンが投与。オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ根絶。
- 2003年:あと6カ国(アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン)。
- 2004年:アフリカの23カ国で8000万人の子どもを対象に一斉に予防接種日実施。
- 2006年:あと4カ国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)。
- 2009年:ビル&メリンダ・ゲイツ財団が、ロータリーからポリオ根絶に2億ドル寄付を条件に、3億5500万ドル提供することを発表。結果、ポリオ根絶推進活動に合計5億5500万ドルに。
- 2011年:ポリオ根絶へのロータリーの寄付総額が10億ドルを超える。
- 2014年:東南アジア地域のポリオ根絶を認定。ポリオの症例は1988年以来、99%減少。



4

ポリオ症例数



5

ロータリーの活動の評価

ロータリーの活動が世界を動かしている

・「ロータリーから刺激を受け、私もポリオ根絶に深くかかわろうと決意しました。ロータリーがなければ、今日の世界はなかったでしょうし、今後世界が向かうべき方向も失われていたでしょう」

- ・「ポリオ根絶の最前線に立ってきたのがロータリーです」
ビル・ゲイツ
タイムズ誌

6

ポリオ野生株による発症例

	2020/1/1～6/16	2019年	2018年	2017年	2016年
パキスタン	55	147	12	8	20
アフガニスタン	19	29	21	14	13
ナイジェリア	0	0	0	0	4
合計	74	176	33	22	37

7

ポリオへのコミットメント

国際ロータリー

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、根絶の認定が達成されるまでは、ほかのすべてのプログラムに対して優先される

(ロータリー章40.010.)

ロータリー財団

世界からポリオ根絶が判断できるまで、RIとロータリー財団の第1の目標としなければならぬことを確認した

(ロータリー財団章典 12.030.)

8

ポリオ寄付金の行方

2019年

ロータリー財団の支出
3億3500万米ドル

その中でポリオプラスには
1億5100万ドルを支出



9

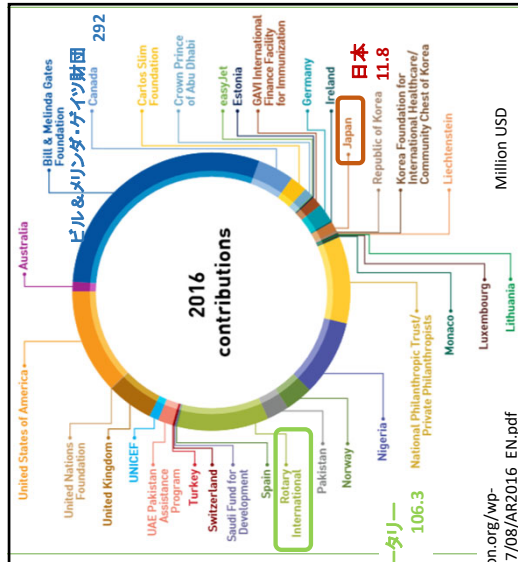
GPEIの資金

年間約10億ドルの資金提供を受けています。

国際ロータリー財団は、GPEIのコアパートナーとして資金を提供してきました。

国際ロータリー

106.3



http://polioeradication.org/wp-content/uploads/2017/08/AR2016_EN.pdf

11

The Global Polio Eradication Initiative: GPEI 世界ポリオ根絶推進計画

5 CORE PARTNERS
5つのコアパートナー

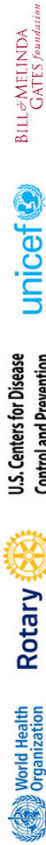
20 MILLION VOLUNTEERS
2000万人のボランティア

14 BILLION INTERNATIONAL INVESTMENT
140億ドルの国際投資

200 COUNTRIES INVOLVED
200の参加国

2.5 BILLION CHILDREN VACCINATED
25億人以上への予防接種

GOAL A POLIO – FREE WORLD
ゴールはポリオのない世界



10

GPEIの支出

- 2016年 総額11億ドル (1,105 million USD)
- 調査と感染防止 903
- OPV調達 165
- 予防接種 321
- 社会的動員 44
- 監視 67
- 技術支援 207
- IPVへ切り替え 108
- 封じ込めと証明 13

Expenditure 2016	Total		
	UNICEF	WHO	Other*
Poliovirus Detection and Interruption			
Campaigns (OPV Procurement)	\$165	\$165	
Campaigns (Operational Cost)	\$321	\$276	\$42
Campaigns (Social Mobilization)	\$44	\$44	\$3
Other Immunization Activities	\$28	\$14	\$14
Surveillance	\$67	\$67	
Technical Assistance	\$207	\$182	\$25
On-going Quality Improvements	\$4	\$4	
Communications, engagement, SOC, MGB	\$67	\$67	
SUB-TOTAL	\$903	\$543	\$357
Immunization Systems Strengthening and OPV Withdrawal			
IPV Introduction	\$51	\$2	\$49
OPV Withdrawal – Switch	\$27	\$26	\$1
Technical Assistance	\$30	\$15	\$15
SUB-TOTAL	\$108	\$43	\$66
Containment and Certification			
Containment and Certification**	\$13	\$13	
SUB-TOTAL	\$13	\$13	
Transition Planning			
Transition**	\$9	\$9	
SUB-TOTAL	\$9	\$9	
SUB-TOTAL DIRECT COSTS	\$1,033	\$608	\$386
SUB-TOTAL INDIRECT COSTS	\$72	\$45	\$27
TOTAL COSTS	\$1,105	\$653	\$456

Million USD

12

ポリオを根絶する5つの理由



1. **人びとの生活を改善**: 根絶活動のおかげで、1,600万人の人びとが身体まひにかかることなく、自らの足で歩いています。
2. **未来への投資**: ポリオが根絶されなければ、毎年20万人の子どもが身体まひとなる可能性があります。ポリオ根絶を実現することは、世界中の子どもに、より安全な世界を贈ること。
3. **子どもの健康を改善**: ポリオ根絶の予防接種活動では、はしか等と保健問題の検査も行われるため、早めに対処することができます。
4. **資金の節約**: ポリオのない世界を実現することで、今後20年間で、400～500億ドルの資金が節約できる。
5. **歴史をつくる**: ポリオが世界から根絶されれば、**天然痘に続いて2番目に根絶された疾病となり、公共保健の歴史上、偉大な功績の一つとなる。**

13

なぜポリオは根絶可能か



ほとどの病気で唯一根絶に成功した疾病ある。それは天然痘。根絶可能な疾病の条件について。

1. ポリオウイルスの感染期間は非持続的
2. ポリオウイルスの感染経路は感染者とその排せつ物のみ
3. ポリオウイルスが自然界で生存し続けるには限界がある
4. ヒトが唯一の宿主
5. ポリオワクチンの予防接種でウイルス感染を防ぐことができる

ポリオを根絶できると確信できるもう一つの理由は、私たちが世界のほぼすべての国でポリオを根絶してきたという事実。

14

生ワクチンと不活化ワクチン



	経口生ワクチン	不活化ワクチン
値段	安い (113円)	高い (5,019円)
接種回数	2回	4回
接種技術	素人でも可能	医療技術者
免疫力獲得	獲得しやすい	獲得しにくい
ワクチンからの感染	あり	なし
使用すべき状況	大規模流行～小規模流行	散発期～終息期

15

ロータリアンは何をすべきか



- みんなの力で世界を変えよう -

○学ぶ

「ポリオってどんな病気?」「なぜ根絶する必要があるの?」「ポリオという病気について知りましょう。

○シェアする

ポリオウイルスは今も世界中で子どもを苦しめています。ポリオ根絶のメッセージを大勢の人に伝えてください。

○寄付する

ワクチンの購入と輸送、予防接種活動に必要な物資など、すべてのご寄付がポリオ根絶に役立てられます。

16

分科会



・ここでグループ別に分かれて分科会を行います(25分間)

★ディスカッションテーマ

- ①それぞれのクラブでどのようなポリオプラス活動をしたか？
- ②ポリオに対してロータリーの3つのアクション「学ぶ」「シェアする」「寄付する」に対してどのような事ができるか？

・その後会場で代表者の人が、ポリオに対してのコミットメントを完結に発表してください。(1グループ1～2分程度)

17

ロータリー章典(2019年1月)



40.040.01. 新しいRIプロジェクト
ポリオプラスプログラムが成功裏に終了するまで、
いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない
(2017年1月理事事会合、決定87号)

END
POLIO
NOW

18

ロータリーカードの種類

(オロコ ロータリーカード使用による2019年7月-2020年5月度貢献実績 4,116,259円)

	オロコ ロータリーカード			ダイナース クラブゴールド (三井住友トラストクラブ)		
	スタンダード	ワールド	法人	クラブカード	地区カード	地区委員会カード
財団への還元率	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.3%	0.3%
有効期限	3年間使用しないと失効します	なし (最終利用日より1年)	同左	1年 (毎年9月失効) 5月～10月申込み	同左	同左
年会費	なし	10000円(内3000円がポイント撲滅に寄付)	カード1枚につき3000円 (50%ポイントに還元)	なし	なし	なし
対象	ロータリアン個人	ロータリアン個人	ロータリアンの法人会社	会長幹事・会計・理事・同じくエレクト	ガバナナー・ガバナナー補佐・地区幹事・地区会計・上記エレクト・メンバー	財団・米山・青少年奉仕・各委員長・当期・次期
特典	ETC・国内/海外旅行保険・24時間利用代金確認システムポイント制度	スタンダード特典 + 24hロードサービス・初年度よりポイント1.5倍・空港ラウンジ使用可	支払い最長57日・ETCカード・各種保険	空港ラウンジ使用可・ETC・発行手数料なし・クラブ専用口座より引落し可	同左	同左
その他	1000円で1ポイントが付与。1000ポイントで5000円分の寄付として交換可	同左。年次基金実績はクラブ・個人でも交換可。能です、スタンダード、ワールド共通	事業に関する経費決済が可能。(融資の利用枠によって必要書類が異なります。)	申込書類(本人確認)付帯条件確認書、クラブの同意書。	申込書類はクラブカードと同じ。例会、地区大会、研修会、IM、各セミナーの支払い可能。交通費、宿泊代、事務経費。クラブコンペ利用	同左

ゴールドカード・スタンダードカードの申し込み方法

ゴールドカードとスタンダードカードは、オンラインで申し込みができます。その方法は下記のとおりです。

1. 『ロータリーカード』で検索し、《Orico-ロータリーカード》のHPを開く。
または、直接 <http://www.orico.co.jp/merchant/rotary/> にアクセス。

2. 最下段の下記のボタンを選択



3. 例として、ゴールドカードを選択（スタンダードカードも同じ）

ゴールドカード お申し込みページ

Orico

地区コードとクラブコードをご入力ください。

地区コード	<input type="text"/>	(例)0000 数字4桁
クラブコード	<input type="text"/>	(例)00000 数字5桁

※ご不明の場合は下記のリストをご参照ください。※半角文字で入力してください。
※カードショッピングについて詳しくは[こちら](#)
※カードキャッシングについて詳しくは[こちら](#)

[オンラインでお申し込み](#)

コード一覧

- ・地区コードに “2620” を記入
- ・クラブコードは、会員証に記載されている『クラブ番号』を記入し
- ・《オンラインでお申込み》をクリック

4. Orico ネット入会のページで、クレジットカード会員規約、個人情報の取扱いに関する条項、eオリコサービス利用規約・Web 明細利用特約 の各項目の《同意する》にチェックを入れ、
《同意して次へ》をクリック

5. 以下は、通常のクレジットカード申請に必要な項目を記入します。

ご注意：法人用のビジネスカードは、オンラインでの申し込みはできません。

2020年5月ロータリーカード実績表

G	クラブ名	期首 会員数	ゴール ド	スタン ダード	法人	合計	保持率	増減	
静岡第1グループ	伊東	31	0	1	1	2	6%	0	
	三島	44	1	6	1	8	18%	2	
	下田	21	1	2	0	3	14%	0	
	熱海南	11	0	5	0	5	45%	0	
	伊豆中央	23	1	0	1	2	9%	0	
	三島西	47	0	1	0	1	2%	0	
	伊東西	50	0	2	0	2	4%	0	
	網代多賀	4	0	6	0	6	150%	0	
	せせらぎ三島	35	1	8	1	10	29%	△1	
	静岡第2グループ	沼津	47	0	11	0	11	23%	0
富士山吉原		68	2	14	1	17	25%	2	
沼津北		63	3	28	4	35	56%	△2	
富士		33	1	2	0	3	9%	△1	
富士宮		33	1	13	0	14	42%	1	
御殿場		56	0	2	0	2	4%	0	
沼津柿田川		9	0	1	0	1	11%	0	
裾野		13	1	0	0	1	8%	0	
長泉		25	0	1	1	2	8%	0	
富士宮西		30	0	5	0	5	17%	0	
静岡第3グループ	新富士	24	0	4	0	4	17%	0	
	沼津西	29	0	6	1	7	24%	△1	
	静岡	107	5	4	1	10	9%	1	
	清水	53	0	1	1	2	4%	0	
	静岡東	46	1	6	2	9	20%	△1	
	清水北	24	0	10	0	10	42%	0	
	静岡南	17	0	4	0	4	24%	0	
	駿河	21	1	1	1	3	14%	0	
	静岡日本平	40	1	8	0	9	23%	0	
	静岡西	33	0	12	0	12	36%	△1	
静岡第4グループ	清水西	42	0	3	1	4	10%	0	
	静岡中央	44	1	9	0	10	23%	3	
	清水中央	37	2	5	2	9	24%	0	
	静岡北	33	0	20	3	23	70%	7	
	焼津	52	0	10	3	13	25%	1	
	島田	52	1	2	1	4	8%	0	
	磐田	35	0	14	0	14	40%	△1	
	藤枝	40	0	5	0	5	13%	△2	
	掛川	35	0	7	0	7	20%	2	
	焼津南	35	1	5	0	6	17%	0	
静岡第5グループ	榛南	33	2	10	0	12	36%	△1	
	袋井	45	0	5	0	5	11%	0	
	藤枝南	49	0	7	0	7	14%	0	
	掛川グリーン	19	0	2	0	2	11%	0	
	小計	1,588	27	268	26	321	20%	8	
	山梨第1グループ	浜松	90	1	6	3	10	11%	3
		浜松東	59	0	2	0	2	3%	1
		浜松南	81	7	1	3	11	14%	1
		浜松北	45	1	2	0	3	7%	0
		浜松西	51	1	0	3	4	8%	0
浜北		63	2	6	4	12	19%	1	
浜名湖		43	0	10	0	10	23%	0	
浜松中		48	0	0	0	0	0%	△1	
浜北伎倍		17	0	6	1	7	41%	0	
浜松ハーモニー		35	0	5	1	6	17%	0	
山梨第2グループ	パワー浜松	76	5	7	0	12	16%	0	
	甲府	111	3	14	4	21	19%	△3	
	富士吉田	57	0	6	0	6	11%	2	
	大月	18	0	4	0	4	22%	0	
	都留	40	0	4	1	5	13%	0	
	河口湖	29	2	1	0	3	10%	0	
	富士吉田西	44	0	6	0	6	14%	1	
	山中湖	17	0	2	0	2	12%	0	
	甲府北	22	0	4	0	4	18%	0	
	山梨	49	0	8	0	8	16%	1	
山梨第3グループ	塩山	9	0	2	0	2	22%	0	
	甲府西	34	0	5	0	5	15%	0	
	甲府東	25	0	7	0	7	28%	△5	
	甲府シティ	43	0	8	1	9	21%	0	
	甲府城北	7	0	2	0	2	29%	△1	
	甲斐	15	1	15	3	19	127%	0	
	甲府南	70	2	10	3	15	21%	0	
	笛吹	32	1	8	0	9	28%	0	
	市川大門	11	0	4	0	4	36%	1	
	南アルプス	15	0	4	1	5	33%	2	
2620地区合計	身延	11	0	1	0	1	9%	0	
	韮崎	14	0	7	0	7	50%	0	
	北杜	15	0	2	0	2	13%	0	
	山梨中央	11	0	2	0	2	18%	0	
	甲斐シティ	26	1	2	0	3	12%	0	
	甲斐の郷	16	0	7	0	7	44%	1	
	小計	1,349	27	180	28	235	17%	4	
	2620地区合計	2,937	54	448	54	556	19%	12	

増減は前年5月実績との比較です

退会後も使用継続される場合で、100%以上となっているクラブがあります。

3年間利用がないと失効します。

補助金の種類

ロータリー財団の補助金は**地区補助金 (District Grants)** と **グローバル補助金 (Global Grants)** の二つがあります。

両補助金とも**人道的プロジェクト (Humanitarian Project)**、**職業研修チーム (Vocational Training Team)** と **奨学金 (Scholarship)** の三つの活動があります。

1. 地区補助金

地区補助金は地区やクラブが計画したプロジェクトを支援するものです。地域社会や海外（ロータリーのない国や地域を含む）でも利用することができます。単年度事業で、年度開始前に申請し、年度内に終了・報告書を提出しなければなりません。補助金は総事業費の半額まで、また、クラブの規模によって金額の上限があります。

利用に当たっては、『地区補助金の授与と承諾の条件』を遵守しなければなりません。

地区補助金には、3年前の年次寄付と、恒久基金の前年度の運用収益の25%が充てられます。地区内全会員が\$150を年次寄付されれば、恒久基金の収益も含め、約1,400万円を地区補助金として使用することができます。この金額を地区内から申請のあったクラブへ配分いたします。このため為替レートの変動や、申請クラブの数によって、申請額通りの補助金交付ができないこともあります。

2. グローバル補助金

グローバル補助金は海外の地区やクラブと提携して、別に定める特定分野のプロジェクトに限って支援するもので、比較的大規模なプロジェクト（総額約300万円以上）が対象となります。対象となるプロジェクトのニーズは日本国内ではあまりなく、主に途上国への援助が中心となっています。

地区補助金と異なり、プロジェクトに参加するために、クラブからの資金提供は義務ではありません。地区で用意されている補助金を利用し、援助国側として実施国側と共同でプロジェクトを計画・実行することになります。知恵を絞り、汗を流して、途上国を支援する素晴らしい事業です。

グローバル補助金を使用するためには、予め地区とクラブの間で、『クラブ参加資格認定：覚書 (MOU)』を結ばなければなりません。

これまでの国際親善奨学生とは異なりますが、奨学生を推薦し送り出すこともできます。ただし、これまでと違い、受け入れ地区やロータリークラブ、顧問ロータリアンを派遣側で交渉しなければなりませんので、大変ハードルが高くなっています。候補者があれば、事前にご相談下さい。

グローバル補助金の申請は随時となっており、プロジェクトも単年度に限らず、年度をまたいでも構わないことになっています。

地 区 補 助 金

地区補助金の計画から実施、報告までの一連の手続きは別に『地区補助金ハンドブック』に詳細が記載されています。このハンドブックを手元に置いて、計画を実施してください。

なお、このハンドブックは地区のホームページからダウンロードできます。

補助金受給資格：地区補助金及びグローバル補助金を受給するためには、前年度に開催される補助金管理セミナーにクラブから参加する義務があります。このセミナーの参加対象者は、次年度の申請プロジェクトの責任者またはそれに代わる方です。(状況によって変更あり)

地区補助金の申請時期：地区補助金はクラブから申請のあったプロジェクトをまとめてオンラインで申請します。各クラブでスムーズに補助金が使えるように、通常5月に締め切り6月にロータリー財団本部に申請します。(昨年度は、パンデミックの影響により、締め切りを延ばしました。)

クラブからの申請を受けて、地区ロータリー財団委員会では、申請プロジェクトが地区補助金のプロジェクトとしての条件が整っているかを審査します。不備がある場合、この間で申請クラブと調整させていただきます。

地区補助金の配分基準：地区補助金は下記の基準で配分します。

○総事業費の50%を上限とします。

○クラブの会員数により、上限額を次の通りとします。

- ・ 20名以下のクラブ・・・・・・・・・・10万円
- ・ 21名以上50名以下のクラブ・・・・・・・・20万円
- ・ 51名以上70名以下のクラブ・・・・・・・・30万円
- ・ 71名以上90名以下のクラブ・・・・・・・・40万円
- ・ 91名以上のクラブ・・・・・・・・・・50万円
- ・ 総事業費の50%を上限とします。
- ・ クラブの会員数により、上限額を次の通りとします。

○予算に変更があった時の処理方法

- ・ **実際にプロジェクトに使用した総額の50%≧地区補助金**の場合は返金不要。
- ・ " " < " " の場合は要返金。

○円レートの変動に対する対応

地区補助金総額は\$基準です。当地に振り込まれる時点でのロータリーレートで円に換算されます。当地区では6月のレートで換算した円で補助金の額を申請クラブにお知らせしますが、その間でレートが変更になった場合、各クラブへの送金額は変動します。

○クラブからの申請総額が、予算を超過した場合、申請額に比例して減額します。また申請総額が予算に満たない場合その余剰分については地区ロータリー財団委員会がその配分を決定します。

過去の実績	2013-2014年度	47クラブ申請	申請額の9.8%上乘せ
	2014-2015年度	57クラブ申請	申請額の8.3%減額
	2015-2016年度	62クラブ申請	申請額の13.5%上乘せ
	2016-2017年度	68クラブ申請	申請額の19.9%減額
	2017-2018年度	66クラブ申請	申請額の9.3%減額
	2018-2019年度	68クラブ申請	申請額の13.6%増額(一律廃止)
	2019-2020年度	68クラブ申請	申請額の11.7%増額(一律廃止)

プロジェクトの実施にあたって

2020-2021 年度地区補助金プロジェクトの実施にあたり、今後の予定と、ご注意頂きたい事項を記載します。

1. **地区補助金の送金について**：すべてのクラブ申請が認可されましたら、補助金決定のお知らせと、補助金専用口座の報告をお願いします。その際、全てのクラブの送金先（銀行口座等）が確定しないと、送金ができず全クラブに影響を与えることとなります。実務ではこの確認作業のため、スケジュールが遅れることが多くあります。メールが送られたときには、速やかに対応いただきますよう宜しくお願いいたします。
2. **専用口座の管理**：プロジェクトに支払われる資金は、基本的に専用口座から引き出してください。一括引き出して、クラブの一般口座に移してはいけません。これが守られていないのが現実です。
口座開設の際に入金した金額は、開設後引き出して、クラブ会計へ戻してください。
3. **計画の変更**：プロジェクト実施段階でその内容が実施計画書と変わる場合、あらかじめロータリー財団委員会にご相談ください。予算の多少の変更は事後の報告書で結構です。
*総事業費の50%が補助金を下回った場合は、その差額を返却していただきます。この際の送金手数料は、事業費に含めて結構です。
4. **領収書**：3,000 円以上の支出に対する領収書は保管し、報告時にその写しを添付してください。報告書にはすべてに支出記載してください。
5. **報告**：プロジェクト完了後、**2週間以内に報告書を提出してください。**
すべてのクラブの適正な報告書が揃わなければ、財団本部へ地区から報告書を提出することができません。これが受理されませんと、次年度の地区補助金は交付されません。1クラブでも遅れると、地区全体に影響を与えることとなります。遅くとも5月15日までには送れるよう計画を立ててください。

提出していただくもの

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 地区補助金報告書 | 様式⑤ |
| 2. 事業報告書 | 様式⑥ |
| 3. 事業報告書（新聞報道等の写し） | 様式⑦ |
| 4. 事業報告書（写真等） | 様式⑧ |
| 5. 事業報告書（領収書等） | 様式⑨ |
| 6. 金専用口座通帳のコピー | |

報告書の書式は、当地区ホームページの《資料ダウンロード》《ロータリー財団関係》からダウンロードしてください。報告書に印鑑やサインが必要なものは、PDF化するか、FAXでお送りください。（ダウンロードできない場合は、ご連絡ください）

6. **書類の保管**：全ての書類や伝票類は5年間保存してください。クラブで保存が困難な場合は、ロータリー財団事務所でお預かりいたします。

地区補助金の授与と受諾の条件

I. 受領資格の指針

地区補助金を活用するすべての活動は、以下に該当しなければならない。

1. ロータリー財団の使命に関連していること。
2. ロータリアンが積極的に参加すること。
3. ロータリー財団、または国際ロータリーに対し、補助金の支給金額を支払うこと以外に何の責任も負わせないこと。
4. 米国および日本の法律を順守すること、また個人あるいは団体に害を与えないこと。
5. 実施に先立ってロータリー財団により審査され、承認された活動のみに使用すること。既に完了済みあるいは進行中のクラブや地区の活動や経費を支払う目的で補助金を使用しないこと。承認に先立って補助金活動の計画を立てることが奨励されているが、承認前に経費が発生してはならない。補助金が承認された後にプロジェクト計画に変更を加える場合は、その変更について事前にロータリー財団の承認を得なければならない。
6. 実施地の伝統と文化に配慮する姿勢を示すこと。
7. ロータリー財団章典の第10.030節に基づき、「補助金参加者の利害の対立に関する方針（the Conflict of Interest Policy for Grant Participants）」を順守すること。
8. ロータリー財団章典の第4.090項に基づき、ロータリーの標章の使用に関する方針を順守すること。

地区補助金 プロジェクト

1. 地元と海外において、プロジェクト、奨学金、職業研修チーム、およびそれらに関連した旅行を支援するものである。
2. 補助金の3%までを、補助金に関連した管理運営費（銀行手数料、郵送料、ソフトウェア、独立財務評価など）に充てることができる。
3. 該当する法律によって認められ、またロータリー財団の方針に従う場合、ロータリー国・地域とそれ以外の国・地域におけるプロジェクトと活動に資金を充てることができる。
4. 奨学生や職業研修チームのオリエンテーション、補助金管理セミナーに資金を充てることのできる。

なお、ロータリー関係の事業であっても、次の活動には地区補助金が利用できません。

- インターアクトまたはローターアクトによる奉仕プロジェクト
- RYLAの登録費
- 青少年交換プログラム：留意事項：18歳未満の青少年による海外渡航のための資金提供は、青少年交換プログラムでのみ認められています。また、ロータリアンの子どもと孫が補助金を受領することは禁じられています。（ロータリーの利害の対立に関する方針による）
- 他国で行われる補助金管理セミナーへ出席するための旅費（航空券とホテル宿泊代を含む）

II. 制約事項

補助金は、いかなるグループも不当に差別したり、特定の政治的・宗教的見解を推進したり、完全に宗教を目的とした催し物を支援したり、妊娠中絶に関連する活動や性決定のみを目的とする活動を支援したり、武器や弾薬の購入資金に充てたり、ロータリー財団への新たな寄付またはロータリー財団の他の補助金への新たな寄付とすることはできない。

これに加え、補助金を以下の目的に使用することはできない。

1. 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。
2. 財団、恒久的信託、利子の発生する長期口座の開設。ただし、第X（マイクロクレジット）に記載された要件に提唱者が従うならば、補助金資金を小口融資ファンドの設立のために使用できる。
3. 土地や建物の購入。
4. 募金活動。
5. 地区大会、国際大会、研究会、創立記念式典、娯楽活動などのロータリー行事に関連する経費。
6. 人道的または教育的活動であっても、クラブが直接行わない活動の広報。
7. 500ドルを超える、プロジェクトの標識。
8. 他団体の運営費、管理費、間接プログラム経費。
9. 受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付。
10. 既に経費が発生した活動。

・ロータリー財団の使命

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

・利害の対立、衝突（Conflict of interest）とは

補助金関係者が、何らかの利益を得る、または、得ると思われるような関係のことです。補助金関係者とは、補助金プログラム参加者だけでなく、その家族、知人、仕事の関係者、受領者が役員理事を務めている団体を含みます。

具体的には、以下の通りですが、これだけに限りません。

- ロータリアン、その親族、ロータリー関係の従業員は補助金を受ける資格はありません（財団細則第9.3項）。但し、ロータリー・クラブ退会后36カ月経過すれば、この対象には含まれません。
- クラブ・レベルまたは地区レベルでロータリー財団プログラム補助金の選考委員を務めるロータリアンは、申請者の選考に当たって、透明性を示さなければなりません。
- 補助金で購入する物品またはサービスについては、業者とロータリアンの関係の有無にかかわらず、公正で、オープンでなければなりません。複数の業者から見積もりをとるようにします。

グローバル補助金の概要

1. 活動の種類

- ・ 人道的プロジェクト 地域社会のニーズに取り組み持続可能かつ測定可能な成果を得る
- ・ 職業研修 専門職業人のグループを海外に派遣、指導や研修を行う
- ・ 奨学金 キャリアを目指す人の大学院留学の費用提供

2. 要件

- ・ 6つの重点分野を支援（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）
- ・ 活動予算は30,000ドル以上。これ以下の小規模なプロジェクトは使用できません。
- ・ 長期的に持続可能で事業完了後も維持管理も含めて成果を持続させる計画であること。
- ・ 地域社会の人々が特定した重要なニーズに応え、地域社会が独自に自力で満たして行ける力を向上させること。
- ・ ロータリアンも積極的に参加すること。

3. プロジェクトの立案

- ・ 地域調査（ニーズの調査、長期的な成果の維持のために地元も参加）
- ・ モニタリングと評価（明確な目標を持ち、適切な基準データを集め、成果を測るための評価基準と情報収集の方法を決める）
- ・ 持続可能な解決策を備える（地域社会のニーズに則し、物資／テクノロジーは現地調達）
- ・ 協同提唱者（実施国のクラブと援助国のクラブ）
- ・ プロジェクト委員会を任命（実施国・援助国双方各々3名以上、事業の完了まで関われる人を選ぶ）
- ・ 資金（現地の政府や自治体、病院、企業、団体などにも資金援助を要請）
- ・ 知識の向上（維持管理のための研修・教育・啓蒙活動を盛り込む）

4. 財務管理

- ・ 資金調達（DDFと同額が、また、クラブからの拠出金の半額がロータリー財団から上乘せ補助されます。ロータリアン以外からの寄付金もOK）
- ・ クラブからの拠出金は、財団本部の事務処理のための経費としてその5%が加算されます。
- ・ クラブに必ずしも資金の提供義務があるわけではありません。
- ・ 書類の保管（補助金の終了後5年間）

5. 申請

申請は全てオンラインで行います。申請は、双方の地区財団委員長と地区ガバナーが承認して提出される運びとなりますので、地区財団事務局との連携をお願いいたします。

グローバル補助金の申請と実施

グローバル補助金を利用してプロジェクトを実施しようとするクラブは、次の手順を踏まなければなりません。これは、高額な費用（3万ドル以上のプロジェクト）を扱う事、また国際間の活動になることから、手続きが複雑になっています。

なお、援助国のクラブ（International Partner）の場合、次の 2.①及び②の手続きの必要はありません。

1. グローバル補助金を利用する場合、クラブの参加認定書・覚書（MOU：Memorandum of Understanding）を地区財団委員会に提出する必要があります。申請提出時の会長とその次の年度の会長が署名します。署名された会長の年度を越える場合は、その都度、完了（Closed）するまで逐次提出して下さい。署名は、直筆でお願いします。
2. 覚書に添って書類を整える。
 - ① MOU 第3項に従い、『ロータリー財団補助金財務管理計画書』を作成。
事項で決めた専用口座の第1名義人および第2名義人の署名・捺印をし、当年度の会長および次年度の会長の署名・捺印が必要。（様式②）の写しを地区に提出して下さい。
 - ② ロータリー財団補助金専用口座を開設。地区へ報告書の提出。（様式③）
地区補助金とは別にプロジェクトごとに専用口座を作ってください。但し、援助国となる場合には口座開設の必要はありません。資金は全て実施国（Host Partner）の管轄となります。
2名の署名人を決め、補助金財務管理計画書に記載する。補助金を口座から引き出し、送金する場合、『ロータリー財団補助金引き出し伝票』（様式⑤）に必要事項を記載し、2名の署名人の署名・捺印をしなければなりません。署名人の交代に備えて、『銀行口座の管理責任の引き継ぎ確認書』（様式④）を作成する。
 - ③ クラブは、プロジェクトを実施するために3人の委員を選任し、その中の一人が代表連絡者（Primary Contact）となり、財団本部（TRF）や相手先のクラブ・地区との連絡を担当します。手続きはネットで行い、英語が中心となりますのでご注意ください。
 - ④ プロジェクトの申請は、地区のグローバル補助金が枯渇するまで随時受け付けます。
 - ⑤ プロジェクトは、単年度で行う必要はありません。随時スタートし、必要な期間を要しても問題はありません。但し、TRFから認可され資金交付を受けた時から起算して、1年毎に中間報告が義務付けされています。

グローバル補助金プロジェクトを計画されようとするクラブは、別途『グローバル補助金ハンドブック』を用意してありますので、ご利用ください。

地区補助金とグローバル補助金の違い

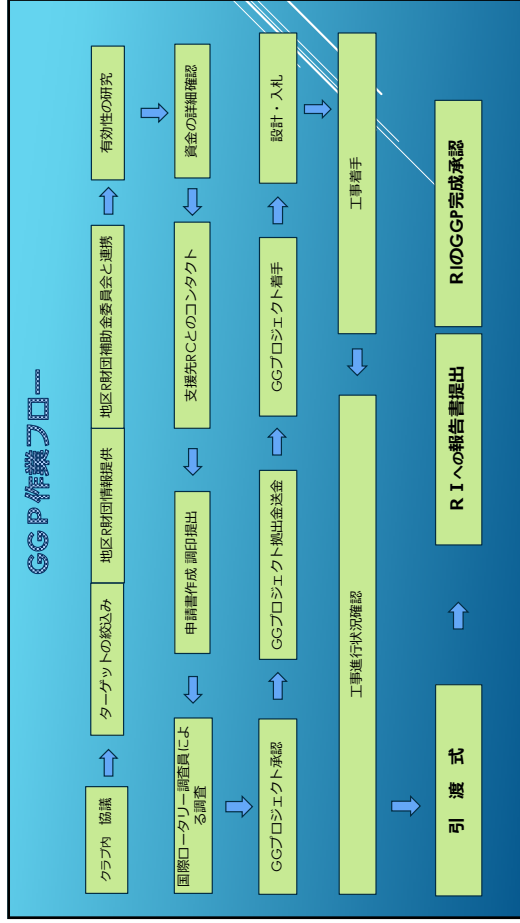
	地区補助金	グローバル補助金
地域	国内、海外両方のプロジェクトに使えます。ロータリー・クラブの無い国や地域にも利用できます。	海外のクラブや地区との共同プロジェクトです。ロータリー・クラブのある国や地域に限定されます。
管理運営	地区補助金が管理する Block Grant (一括して地区に授与される補助金)。地区の裁量で補助金を使えます。 クラブや地区が希望する事業に基づき補助金を授与します。 完了報告書も同様な手順で、地区が一括してロータリー財団に提出します。	プロジェクトごとにロータリー財団が直接審査・認可し、補助金を授与します。 実施国・援助国双方のクラブ又は地区の担当者が Web で申請書を作成し、クラブ会長、地区財団委員長、地区ガバナーの順に承認を得て提出する事になります。 完了報告書もほぼ同様な手順となります。
資金	地区財団活動資金 (DDF) のみ使用できます。ロータリー財団 (TRF) とのマッチングはありません。	地区財団活動資金 (DDF) と国際財団活動資金 (WF) の両方を使用します。 DDF と WF については別項を参照のこと。
	3 年前の年次寄付と恒久基金収益に基づく DDF の 50% が上限。	3 年前の年次寄付と恒久基金収益に基づく DDF の 50% とその同額を WF が加算。
	DDF、WF の扱いは、見直される場合があります。	
	補助金の額に上限と下限はありません。地区の裁量で交付します。	地区からの補助金は 15,000 ドルから 20,000 ドルを目安としています。
	未使用の場合、DDF に繰り入れられますが、地区補助金の繰り越しは出来ません。グローバル補助金として使用可。	未使用の場合、繰り越してグローバル補助金として使用できます。
使用目的	ロータリー財団の使命に関連がある事業。ロータリーに相応しい目的であればその種類に制限はありません。	次の重点分野に該当するプロジェクト。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和と紛争予防／解決 ・ 疾病予防と治療 ・ 水と衛生 ・ 母子の健康 ・ 基本的教育と識字率向上 ・ 経済と地域社会の発展
実施期間	年度内に完了するプロジェクト又は活動であること。	年度の区切りは無く、長期プロジェクトも可能。奨学金を除きその期間に制限はありません。
持属性	その成果は、持続性のあるプロジェクトが望ましいが、必須事項ではない。	完了後、持続的にプロジェクトが活かされることが義務付けられている。(維持管理・成果の測定)
建物	新築は不可。改築は可。	管理委員会承認の元に協力組織 (NGO など) で協力団体ではない) と共に建設プロジェクトに使用できます。仮設住宅、仮設校舎は可。



グローバル補助金事業 (GGP)

焼津ロータリークラブ

1



2



重点分野 水と衛生

RID2620 日本 スポンサークラブ 焼津RC

RID3220 スリランカ スポンサークラブ ニカウエアティアRC

Coスポンサークラブ 焼津南RC 静岡南RC

3

スリランカ民主主義共和国

首都：スリジャヤワルダナプラコッテ
人口：20,270,000人
宗教：仏教・ヒンドゥー教・イスラム教
GDP：3,164ドル（世界平均の30%）
日本→スリランカ（コロンボ）直行便：9時間

1948年2月、イギリス連邦内の自治領として独立。国名はセイロンとする。
1972年スリランカ共和国に改称。
1983年から2009年まで内戦を繰り返す。
2009年内戦終結を宣言。

4

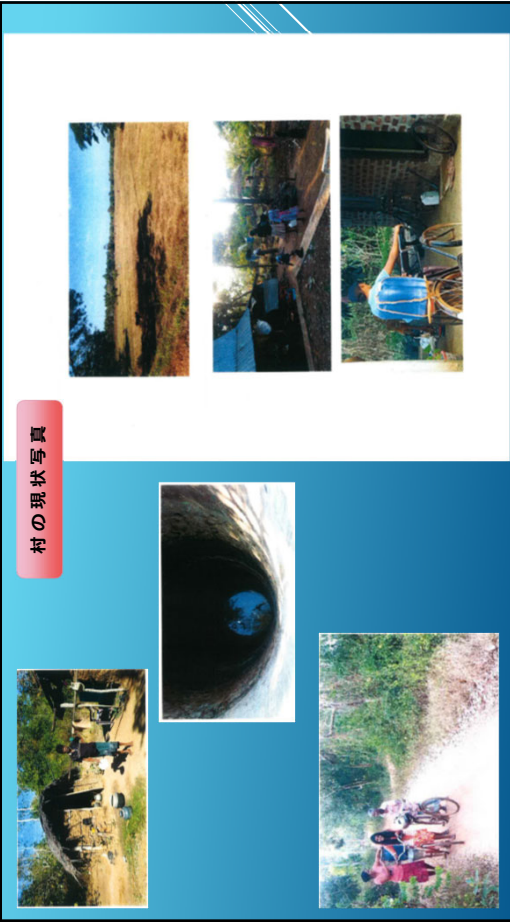
実施地区：アガラウタ村

- 世帯数：115
- 収入源：農業
※政府の補助金に依存家族 60世帯
- 所要時間：コロンボ～アガラウタ村 (3時間)
- 援助理由
この地域では過去2年間に深刻な干ばつがあったため、村人は日常生活のための水不足や飲み水の確保ができず大きな問題に直面しています。
必要な水を確保し、安全な水を供給することにより、村人の健康状態を改善するとともに、アガラウタの村人の生活の質を向上させます。



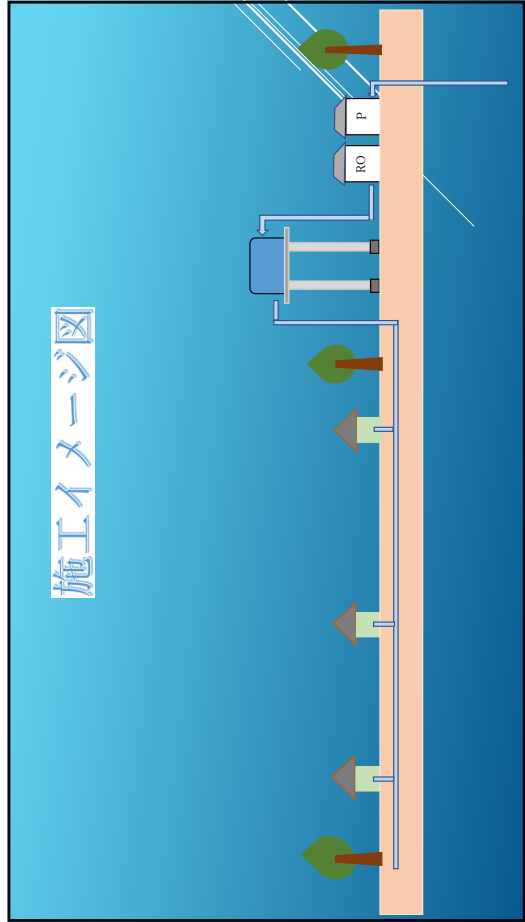
5

村の現状写真



6

施工イメージ図



7

設備工事予算

#	項目	内容	費用 \$	円 (112/\$)
1	OP	井戸掘削工事 (試験費含む)	7,278	815,136
2	OP	高架水槽の建設	9,342	1,046,304
3	OP	ポンプ、浄水器設置小屋建設	3,165	354,400
4	OP	配管用溝掘工事	9,494	1,063,328
5	OP	配管工事、他	25,316	2,835,392
6	OP	給水ポンプ設置および電気工事	7,911	886,032
7	OP	浄水器設置工事	9,494	1,063,328
		合計	72,000	8,064,000

8

調達資金内訳

#	Source	Details	Amount(US\$)	Amount(¥) 112/\$
1	DDF	3220	5,000.00	560,000
2	DDF	2620	27,750.00	3,108,000
3	Cash from Club	Yaizu	1,575.00	176,400
4	Cash from Club	Yaizu South	525.00	58,800
5	Cash from Club	Shizuoka South	525.00	58,800
6	Cash from Club	Nikaweraiiya	525.00	58,800
	合計		35,900.00	4,020,800

◇ 資金内訳

DDF (地区資金) + Cash (クラブ拠出金) + WF (R財団資金) : 72,000.00 (USD) [8,064,000円]
36,100.00 (USD)

9



工事着工 2018年 12月16日

10



2019年 1月7日 現在

高架水栓架台建設

11



2019年 5月26日 現在

12

井戸の掘削作業



13



2019年 6月13日現在

14

設備管理および維持費用の説明会開催



15



完成引渡式 2019年7月28日

අගාරඋඩ රොටර් ඉමේය ජල ව්‍යාපෘතිය
AGARAUDA ROTARY WATER PROJECT

Global Grant Project No. GG1876363

Sponsor by
Yeizu Rotary Club - 2620 Japan,
Rotary Club Nikaweratiya - 3220 Sri Lanka.

Co-sponsor
Rotary Club Yeizu South,
Rotary Club Shizuoka-South

නිකවැරට්‍ය රොටර් සමාජයේ තවත් ප්‍රජා සේවකයෙකි.

16



17



18

**完成に際して、焼津ロータリークラブ
として、お祝いのメッセージカード
を贈る。**


焼津ロータリークラブ
 Rotary Club of Yatsu
 1st 4th 6th 8th 10th 12th 14th 16th 18th 20th 22nd 24th 26th 28th 30th 32nd 34th 36th 38th 40th 42nd 44th 46th 48th 50th 52nd 54th 56th 58th 60th 62nd 64th 66th 68th 70th 72nd 74th 76th 78th 80th 82nd 84th 86th 88th 90th 92nd 94th 96th 98th 100th
 1st 2nd 3rd 4th 5th 6th 7th 8th 9th 10th 11th 12th 13th 14th 15th 16th 17th 18th 19th 20th 21st 22nd 23rd 24th 25th 26th 27th 28th 29th 30th 31st 32nd 33rd 34th 35th 36th 37th 38th 39th 40th 41st 42nd 43rd 44th 45th 46th 47th 48th 49th 50th 51st 52nd 53rd 54th 55th 56th 57th 58th 59th 60th 61st 62nd 63rd 64th 65th 66th 67th 68th 69th 70th 71st 72nd 73rd 74th 75th 76th 77th 78th 79th 80th 81st 82nd 83rd 84th 85th 86th 87th 88th 89th 90th 91st 92nd 93rd 94th 95th 96th 97th 98th 99th 100th

2017 July 29th
 On behalf of the Rotary club of Yatsu:
 First Governor Makamura's University, and all the Rotarians
 Congratulations.
 We are pleased to extend warm greetings to all of you who are celebrating the
 completion of the water supply facility in Agatsuma Village (021519263).
 However, unfortunately business happened and we had to postpone the visit.
 We had been preparing to look forward to visiting your village.
 We will visit your country in the near future and wanting to be able to meet all of
 you. We Rotarians are always with you.
 May we continue with your stable daily life and every day be filled with happiness.
 Finally, we would like to thank the members of Nakamura City, who planned and
 implemented this project. Thank you very much.

A. Asakura

19



20

GGP最終報告書

GGP最終報告書は工事写真を含めて、50ページあまりに及びますが、1Pのみ表示してあります。

○人的な効果報告
1. 家庭ごとの浄水システムを通じて糞処理をした水を利用できるようになった人数 499名

○実質工事費報告
2. 当初予算 72,000,000 USD
実質工事費用 65,888,760 USD

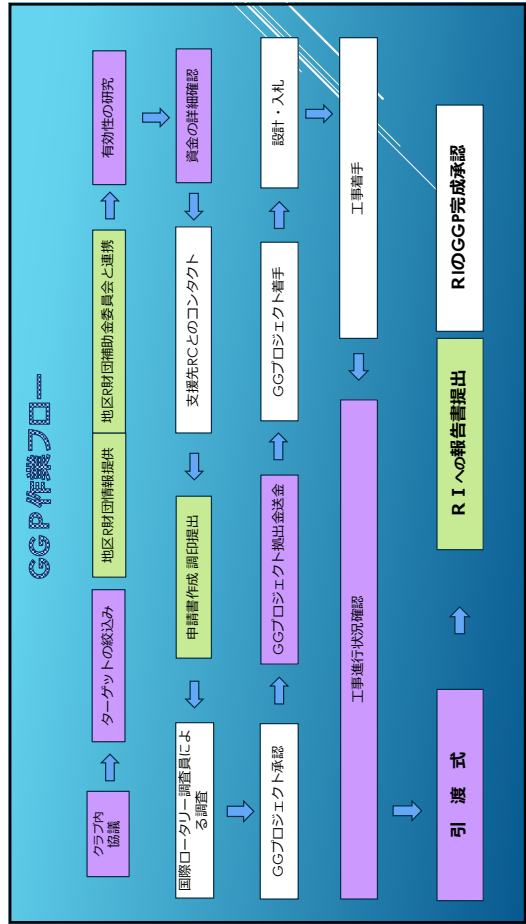
Dear Rotarians:

Thank you for submitting the final report for Global Grant GG1876343. The report has been reviewed and we are pleased to announce that the grant is now closed. Your cooperation in fulfilling the requirements is greatly appreciated.

We encourage you to share your successful global grant activities on [Policy Showcase](https://policy.showcase.org). Many thanks to all the Rotarians who gave their time, funds, and expertise to implement this grant. Your contributions support the Rotary Foundation's mission to advance world peace, health, and education through the improvement of health, the support of education, and the alleviation of poverty.

With warm regards,
 Jennifer Berg
 Regional Grant Officer | Rotary Grants
 Tel: 1.847.425.3660
rotary@rotary.org

国際ロータリー GGローティネーター
 ジェニファー バーグ氏より
 完了報告書のチェックを終えようとして
 いるとのメールを頂く。



第2620地区のグローバル補助金プロジェクト

1. 完了 2015.06.16 Closed

GG1420126

プロジェクト名	Toilets and Tube Wells-iranaimatha nagar mulankawil		
内 容	内戦で破壊されたスリランカの地方集落 311 世帯へ、井戸を掘り、給水施設並びにトイレを建設し提供する。施設の維持管理は、地域の協会が中心となり担当する。		
実施場所	スリランカ・イラナイ マサ ナガー・ムランカウィル村		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	コロンボ西 RC		\$ 1,000
	第 3220 地区	\$ 4,000	\$ 4,000
援助国側	浜松南 RC		\$ 7,500
	第 2620 地区	\$ 20,225	\$ 20,225
小 計	\$ 24,225	\$ 8,500	\$ 28,475
総事業費	\$ 61,200		

2. 完了 2016.02.19 Closed

GG1420328

プロジェクト名	Provision of Safe Drinking Water and Sanitation to Schools		
内 容	スリランカ中部の地域の 9 学校（生徒数約 9,000 人）に浄水器付の水飲み場整備、及び衛生的で男女を分けプライバシーを配慮したトイレを提供する。		
実施場所	スリランカ・ニカウエラティヤ周辺地区		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	ニカウエラティヤ RC		\$ 500
			\$ 250
援助国側	静岡南 RC		\$ 5,000
	静岡日本平 RC		\$ 1,000
	静岡東 RC		\$ 500
	第 2620 地区	\$ 43,000	\$ 43,000
小 計	\$ 43,000	\$ 7,000	\$ 46,500
総事業費	\$ 96,500		

3. 完了 2017.05.24 Closed

GG1526118

プロジェクト名	Bakery and Cafeteria School		
内 容	サンパウロの路上生活者の 14 歳以上の子供たちにパンやケーキを焼く技能を習得させ、自立の支援をする。そのための道具一式を支援団体の施設内に設置し、ベーカリー教室を開き子供たちを教育する。		
実施場所	ブラジル・サンパウロ		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	リベルターデ RC		\$ 0
	第 4430 地区	\$ 7,500	7,500
援助国側	第 2620 地区	\$ 9,750	\$ 9,750
小 計	\$ 17,250	\$ 0	\$ 17,250
総事業費	\$ 34,500		

4. 完了 2018.04.21 Closed

GG1633868

プロジェクト名	HIV and Syphilis prevention, diagnosis, and treatment for at risk young people throughout Taiwan		
内 容	台北市及び近郊都市の約 4,000 人の若者のエイズ・梅毒予防、及び治療		
実施場所	台北市、及び周辺都市		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	台北芙蓉 RC		\$ 2,000
	第 3480 地区	\$ 10,000	\$ 1,000
援助国側	富士山吉原 RC		\$ 1,000
	第 2620 地区	\$ 10,000	\$ 500
小 計	\$ 20,000	\$ 3,000	\$ 21,500
総事業費	\$ 44,500		

5. 完了 2018.05.04 Closed

GG1640865

プロジェクト名	Water and Sanitation		
内 容	スリランカ中部の地域の 6 学校（生徒数約 2,700 人）に浄水器付の水飲み場整備、及び衛生的で男女を分けプライバシーを配慮したトイレを提供する。		
実施場所	スリランカ・ニカウエラティヤ周辺地区		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	ニカウエラティヤ RC		\$ 500
	第 3220 地区	\$ 4,500	\$ 250
援助国側	三島 RC		\$ 3,200
	静岡南 RC		\$ 1,600
	静岡東 RC		\$ 500
	三島西 RC		\$ 500
	せせらぎ三島 RC		\$ 500
	伊豆中央 RC		\$ 500
	長泉 RC		\$ 300
	静岡日本平 RC		\$ 500
	御殿場 RC		\$ 250
	第 2620 地区	\$ 20,000	\$ 250
小 計	\$ 24,500	\$ 8,000	\$ 28,500
総事業費	\$ 61,000		

6. 実施中 (2018.5.25 認可) (要報告)

GG1863789

プロジェクト名	Clean-safe Drinking Water Project for 5 Public Schools in Cabuyao and Atimonan		
内 容	フィリピン・カバヨ地域の 5 学校 (生徒数 14,451 人) に浄水器付の水飲み場整備をする。		
実施場所	フィリピン・カバヨ地区		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	第 3820 地区	\$ 4,000	\$ 4,000
援助国側	台北芙蓉 RC		\$ 2,000
	富士山吉原 RC		\$ 1,000
	静岡東 RC		\$ 500
	台北 Hsin-Yi RC		\$ 1,000
	台北 Holder RC		\$ 1,000
	台北 RC		\$ 2,000
	第 2620 地区	\$ 10,000	
小 計	\$ 14,000	\$ 7,500	\$ 17,750
総事業費	\$ 39,250		

7. 実施中 (2018.8.10 認可)

GG1872184

プロジェクト名	Capacitar para incluir		
内 容	ドリナ財団が実施している、視覚障害者のリハビリ・サービス (社会復帰援助) 支援と視覚検査・リハビリ機器類の機材を寄贈する。		
実施場所	ブラジル・サンパウロ		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	リベリターデ RC		\$ 0
	第 4430 地区	\$ 7,757	\$ 7,757
援助国側	富士宮 RC		\$ 1,000
	第 2620 地区	\$ 6,622	\$ 6,622
小 計	\$ 14,379	\$ 1,000	\$ 14,879
総事業費	\$ 30,257		

8. 完了 (2019.8.7)

GG1870079

プロジェクト名	Multifunctional Training Centre for Bethel in Habarana		
内 容	スリランカ・ハバラナにある多機能トレーニングセンターで、幼児から青年までを対象にした教育を行っている民間組織に資機材を寄贈する。		
実施場所	スリランカ・ハバラナ		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	第 3220 地区	\$ 2,500	\$ 2,500
援助国側	浜松南 RC		\$ 4,025
	第 2620 地区	\$ 10,500	\$ 10,500
小 計	\$ 13,000	\$ 4,025	\$ 15,001
総事業費	\$ 32,026		

9. 実施中 (2018.10.3 認可)

GG1872979

プロジェクト名	Water and Sanitation Project – Shree Chyamra Devi Secondary School, Dhading		
内 容	首都カトマンズから歩いて 3 日程掛かる辺地の村 (車道がない) の学校 (生徒数約 400 人) にトイレと水飲み場を整備する。		
実施場所	ネパール・シェルトン村		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	ヒマラヤン・ゴルカ RC		\$ 1,000
	第 3292 地区	\$ 1,000	\$ 500
援助国側	浜北 RC		\$ 20,350
	第 2620 地区	\$ 25,000	\$ 10,175
小 計	\$ 26,000	\$ 21,350	\$ 36,675
総事業費	\$ 84,025		

10. 完了 (2020.1.16)

GG1876363

プロジェクト名	Water supply project for Agarauda Village		
内 容	水道の無い極貧の村 (115 世帯) に、深井戸、給水タンク、各戸への給水管を設置。この施設の維持管理の為に組合を組織し、水道料金を徴収し持続可能な運営を図る。		
実施場所	スリランカ・ニカウエラティヤ近郊のアガラウダ村		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	ニカウエラティヤ RC		\$ 500
	第 3220 地区	\$ 5,000	\$ 250
援助国側	焼津 RC		\$ 1,500
	焼津南 RC		\$ 750
	静岡南 RC		\$ 250
	第 2620 地区	\$ 28,750	\$ 500
小 計	\$ 33,750	\$ 3,000	\$ 28,750
総事業費	\$ 72,000		

11. 実施中 (2019.2.15 認可)

GG1980184

プロジェクト名	Sleep Laboratory Center for Children.		
内 容	睡眠障害を持つ子供たちの為の医療機関「小児睡眠障害センター」に医療機器を提供し、その検査技術・治療方法を指導する。		
実施場所	クロアチアの Dalmatia 群 Split 市		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	第 1913 地区		\$ 12,000
	第 1913 地区 (クロアチア地区)	\$ 12,000	\$ 6,000
援助国側	第 3481 地区 (台湾地区)	\$ 10,000	\$ 10,000
	第 3450 地区 (香港地区)	\$ 10,000	\$ 10,000
	第 2620 地区	\$ 10,000	\$ 10,000
	台北芙蓉 RC		\$ 1,000
	富士山吉原 RC		\$ 500
	Taipei Agape RC		\$ 1,000
	Taichung Light-UP RC		\$ 1,000
	Taichung Jong Jou RC		\$ 1,000
	Shen Kan RC		\$ 2,000
	Taichung Shan Hai Tun RC		\$ 1,000
小 計	\$ 42,000	\$ 20,000	\$ 52,000
総事業費	\$ 114,000		

12. 実施中(2019.8.20 認可)

GG1990661

プロジェクト名	Prevention & Treatment: New Psychoactive Substances (NPS) abuse in Children & Youth in Taiwan.		
内 容	台湾の子供と青少年の違法薬物(大麻・コカインなど)の乱用予防と治療 (約 1 万人が対象)		
実施場所	台湾		
参加地区・クラブ・資金提供	地区活動資金(DDF)	現金	財団上乗せ(WF)
実施国側	台北芙蓉 RC		\$ 1,000
	第 3481 地区 (台湾地区)	\$ 10,000	\$ 500
援助国側	第 1913 地区 (クロアチア地区)	\$ 3,000	\$ 10,000
	第 2620 地区	\$ 9,000	\$ 3,000
	Split RC		\$ 2,000
	Kastela RC		\$ 1,000
	Solin RC		\$ 2,000
	富士山吉原 RC		\$ 1,000
	静岡東 RC		\$ 500
	Sophia Lee RC		\$ 250
	東京サライズ 汐留 RC		\$ 3,330
	Cabuyao Circle RC		\$ 1,000
小 計	\$ 22,000	\$ 13,830	\$ 28,900
総事業費	\$ 64,730		

グローバル補助金にチャレンジしよう！

浜松南ロータリークラブの場合

グローバル補助金を使用し、国際奉仕事業を行う事は、世界の人の生活を向上させるだけではなく、他国ロータリアンとの協働、メンバーの国際理解等素晴らしい効果がある取組になります。そして「ロータリー財団」活用の最大の醍醐味です。

どのようにグローバル補助金事業を組み立てるか。浜松南RCの場合

プロジェクトの立案の流れ

浜松南RCの取組

1, アイディアの立案

・地域社会にもたらしたい影響 ・測定可能な目標・成果 等

2, 地域調査

・フォーラム(住民会合) ・地域リソース調査 ・アンケート調査 他

3, モニタリングと評価(目標設定、基準データ収集、評価基準設定)

・明確なプロジェクト目標 ・独自の評価基準 ・データ収集他

4, 「持続可能」な解決策を備える

・地域社会のニーズと強みを調査 ・恩恵を受ける人々に関与してもらう ・研修、教育を行う
・現地で物資を調達する ・現地の資金源を確保する ・モニタリングと評価を欠かさない

5, 協同提唱者選定(実施国のクラブと援助国のクラブ)

・自らのクラブで探す ・地区財団委員会を通して探す 等

6, 資金(グローバル補助金の申請、現地企業、団体にも資金援助要請)

・申請はオンラインで行う。(必要であれば地区財団委員会が、行います)

7, 知識の向上(維持管理のための研修・教育・啓蒙活動を盛り込む)

・「持続可能性」のために

※グローバル補助金事業を考えると、海外の奉仕ニーズを調査して一から組み立ててもよいですが、①クラブ内の外国人との立案②米山学友との立案③海外NGOとの立案④マイロータリーからのアイディア、等を利用するのもよいでしょう。何かありましたら、どんな事でも結構ですので地区財団委員会に相談ください。

グローバル補助金職業研修チーム

職業研修チーム（VTT：Vocational Training Teams）は、以前ロータリー財団の事業として行われていた研究グループ交換（GSE）に代わるプログラムです。このプログラムでは、海外で技術を学んだり（自身の職業スキルアップ）、あるいは現地の人々を指導（他者に職業訓練を提供）したりするため、複数の専門職業人からなる職業研修チームを派遣あるいは受入をします。メンバーの職業は異なっても構いませんが、グローバル補助金で提言されている**6つの重点分野**の中で、同じ重点分野を支援するという共通の目的を有していなければなりません。

チームは、ロータリアンであるチームリーダー1名と、ロータリアンでないチームメンバー少なくとも3名で構成されなくてはなりません。研究グループ交換プログラムとは違い、メンバー数の上限はなく、参加者の年齢制限も研修期間の制約もありません。

職業研修は、プロジェクトを維持可能なものとするために、人道的プロジェクトに付随して行うのが最も効果的と考えられます。Exchange（交換）ではなくなったので、派遣だけでも受入だけでも実施することができます。

この人道的プロジェクトに則った職業研修チームを成功させるための要素は、以下の4つとなっていますので、職業研修チームを提案、申請する場合は参考にしてください。

1. **持続可能性** プロジェクト終了後にも地域社会が自力で経済と地域社会の発展のニーズに取り組んでいけること。
2. **測定可能性** 評価基準の中から選んで成果の測定方法を決めるか、独自の測定基準を採用すること。
3. **地域社会が主導** 現地の地域社会が、自ら特定したニーズに基づいてプロジェクトを計画すること。
4. **重点分野に沿った活動** 方針文書に定義されたプロジェクトとすること。

職業研修チームの財源は、国際財団活動資金（WF）と地区財団活動資金（DDF）からなり、1件あたりの事業は30,000ドル以上となっていますので、地区のロータリー財団資金を考慮し、計画段階でご相談ください。

また職業研修チームの申請書は、年度を通じて随時受け付けられ、申請書が財団で承認されれば資金の支給が行われ、その12ヶ月毎に報告書の提出が必要となります。

今年度は、パイロット地区での実績を調査し、当地区でこの職業研修チームを実施するための指針を作成していき、各クラブにおいてこの職業研修チームプロジェクトを活用しやすいものとしていきます。

グローバル補助金による奨学金

この奨学金プログラムは 6 つの重点分野のいずれかに合ったキャリアを目指し大学院レベルの研究目標で、卒業後も引き続きその分野での活動をする事が条件となります。

● 6 つの条件

- ① 平和と紛争予防/紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

本人については

- 性別、未婚、既婚、年齢は問いませんが、留学までに大学課程を修了、または終了予定の者
- 留学先の教育機関の入学許可を取得している事
- 受け入れ国の言語に堪能である事
- 大学院レベルの教育プログラムで学ぶ事
- 承認された受け入れ地区内でロータリークラブや地区の活動に参加できるよう地区内の教育機関の近隣に住む事
- 2620 地区の在住か、出身者、大学、大学院に在籍、職場に常勤している事
など、要件を満たす人が応募できます。

資金は地区活動資金（DDF）と国際財団活動資金（WF）の両方を、3 年前の年次寄付と恒久基金収益に基づく地区活動資金から地区補助金を差し引いた額、またクラブと地区補助金で 15,000 ドル～25,000 ドルです。2020 年 8 月 1 日～10 月 31 日まで受付を行い、11 月に審査をします。

このプログラムは留学先の地区やクラブを推薦クラブ、地区、本人が交渉、設定し、協力し合って進めるプログラムです。優秀な希望者がいらっしゃいましたらロータリー財団委員会に是非ご相談ください。

ロータリー平和フェローシップ

平和づくりに貢献できる人材を育てたい… そんな願いから、ロータリーは、ロータリー平和センターで学ぶための奨学金（フェローシップ）を提供しています。ロータリー平和センターで学ぶ学生は平和フェローと呼ばれ、研修、研究、実践を経て、平和と開発の分野で活躍する人材となります。卒業生の多くは、各国政府、NGO、国連や世界銀行などの国際機関に就職、または法律関係や教育分野でキャリアを築いています。

申請資格

ロータリー平和フェローシップは、国際関係や平和と開発の分野で職務経験のある人を対象としています。さらに、地元や海外で平和のために活動した経験があることが望まれます。候補者は、以下を備えている必要があります。

- ・英語に堪能。第二言語に堪能であることも強く推奨されています（日本語を母語とする方の場合、日本語が第二言語として認められます）。
- ・個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への専心を実証。
- ・優れたリーダーシップ能力。
- ・【修士号取得プログラムの申請者】 学士号を有し、関連分野において少なくとも3年間のフルタイムの職歴を有していること（フルタイムのボランティアも可）。
- ・【専門修了証取得プログラムの申請者】 関連分野において少なくとも5年間のフルタイムの職歴）を有していること（フルタイムのボランティアも可）。

申請方法

ロータリー平和フェローは、世界審査を経て選出されます。

- ・5月31日までにウェブサイトから申請します。 www.rotary.org/ja/peace-fellowships
 - ・ロータリー財団委員会に連絡し、面接を経た上で地区からの推薦を受ける。地区が国際ロータリーに申請書を提出する期限は、7月1日です。
 - ・フェローに選ばれた場合、フェロー本人が指定大学への入学申請を行います。
- 世界で1年に100名の平和フェローが採用されます。日本ではこれまでに年平均2名と狭き門ではありますが、ポリオが収束した後の最も重要なプログラムになるといわれています。ご不明な点は、地区ロータリー財団委員会へお問い合わせください。

教育機関（ロータリー平和センター）

デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）、国際基督教大学（日本）、ブラッドフォード大学（英国）、クイーンズランド大学（オーストラリア）、ウプラサ大学（スウェーデン）、チュラロンコーン大学（タイ）

財団学友会『山静学友会』

1. 財団学友小委員会とは

下記「山静学友会」が行う活動を支援する委員会。

2. 山静学友会（正式名：国際ロータリー第2620地区ロータリー財団学友会）とは

山静学友会は、ロータリー元財団プログラム（国際親善奨学生、GSE、同額補助金）による奨学金を獲得して、海外留学や海外文化研修を体験した会員により組織されている「非営利団体」です。「未来の夢計画」後、上記プログラムが廃止となった為、現在は新規の学友の増加が限定されており、新たな学友の創出を模索中です。

3. 山静学友会の歴史とは

1960年に金子昌生さんが第1期国際親善奨学生としてアメリカに留学されましたが、学友会は存在せず、当時、国際ロータリーは中部地区として奨学生を送り出していました。その後、1974年に神奈川、山梨、静岡3県を一体とした第359地区から山梨、静岡が合同で分化し現在の第2620地区ができました。それを機にGSE第1期生曾根眞人さんを始めとする有志により、現在の学友会が愛称：山静学友会（金子さんの命名）として組織され、2018年6月現在、会員数は500名余となっています。

4. 山静学友会の目的とは

ロータリーの精神にのっとり、会員相互の親睦と、ロータリークラブ、ローターアクト、インターアクト等関係団体との協力・連携のもとに「国際親善使節」としての使命を自覚し、国際理解と友好に寄与するための活動を行う。

5. 山静学友会の活動とは

- (1) ロータリークラブ 例会での卓話（主に11月の財団強化月間に実施）

海外での国際交流の経験や、自身の研究活動で得た成果をロータリアンの皆様と共有させていただくため、地区クラブの例会で卓話をしています。

***11月のロータリー財団月間には、学友へ卓話のご依頼を承っております。**

ご依頼は山静学友会 代表幹事（[sansei.gakuyu@gmail.com]）（2019年度代表幹事「廣瀬美鈴」）までお願いします。

- (2) 地域社会への貢献

専門分野で志を高めた学友は、地域社会への貢献に寄与したいと考え、一例として学友で結成された「Natia」は2011年7月に東日本大震災の被災地、釜石、大槌、遠野でコンサート、8月に浜松でチャリティーコンサート、2012年9月に葦崎、10月に河口湖で東北をテーマとしたコンサートを開催しました。

また、2015年8月にはドイツより「カールスルーエ独日協会合唱団」を迎え、米山梅吉記念館で国際交流コンサートを開催しました。

***学友が行うイベント等へのご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。**

(3) 山静学友会誌の作成

2019年度で第35号となった「山静学友会誌」は学友会メンバーおよびロータリーの皆様との情報共有誌です。全国の他の学友会にも例がない、ユニークな会誌となっています。

(4) 山静学友会のホームページ

<http://ri2620sansei.org/> をご覧ください。

6. 山静学友会の今後の活動について

(1) 新規の学友

ロータリー財団「未来の夢計画」により、2013-2014年度からロータリー財団プログラムにあった「国際親善奨学生・GSE」の両制度が廃止され、両制度からの新規の学友は誕生しないこととなりました。

(2) 今後の活動

学友会の活動は代表幹事・会誌幹事等がリードしてきましたが、その代表幹事・会誌幹事はこれまでの新規の学友が交代して担当してきたため、上記の通り、新規の学友が誕生しにくい状況のもと、今後体制をどのように維持、発展させていくかが課題となっています。Facebook等のSNSを活用し、学友の日頃の交流を深めていくとともに、これまでの学友会の活動方法を見直し、新たな取り組みを検討しました。そこで代表幹事だけに負担にならないよう新たな組織に移行します。

- (1) 会長職：1名
- (2) 代表幹事：1名
- (3) 副代表幹事：2名以上4名以内
- (4) 会誌幹事：1名
- (5) 幹事：必要とする人数

以上の組織で運営していきますので、ご支援、御協力をお願い申し上げます。

クラブ別 ポールハリス・フェロー(PHF)・ベネファクター(BF)の数

G	クラブ名	会員数	PHF	BF
静岡第1グループ	伊東	31	12	10
	三島	44	25	7
	下田	21	12	3
	熱海南	11	8	6
	伊豆中央	23	17	-
	三島西	47	26	19
	伊東西	50	21	4
	網代多賀	4	2	-
	せせらぎ三島	35	17	6
静岡第2グループ	沼津	47	21	9
	富士山吉原	68	45	12
	沼津北	63	29	14
	富士	35	12	8
	富士宮	33	25	13
	御殿場	56	40	17
	沼津柿田川	9	6	1
	裾野	13	9	5
	長泉	25	16	1
	富士宮西	30	18	5
	新富士	24	10	14
	沼津西	29	12	13
静岡第3グループ	静岡	107	50	8
	清水	52	27	12
	静岡東	46	20	13
	清水北	24	8	5
	静岡南	17	9	6
	駿河	21	5	-
	静岡日本平	40	22	12
	静岡西	33	16	13
	清水西	42	19	12
	静岡中央	44	23	9
	清水中央	37	32	13
	静岡北	33	19	5
静岡第4グループ	焼津	52	27	14
	島田	52	26	13
	磐田	35	19	4
	藤枝	40	25	10
	掛川	35	16	4
	焼津南	35	22	9
	榛南	33	17	9
	袋井	45	30	1
	藤枝南	49	32	13
掛川グリーン	19	5	3	

G	クラブ名	会員数	PHF	BF
静岡第5グループ	浜松	89	47	15
	浜松東	59	38	12
	浜松南	81	53	5
	浜松北	45	27	13
	浜松西	51	37	14
	浜北	63	38	19
	浜名湖	43	20	13
	浜松中	48	36	2
	浜北伎倍	17	5	5
	浜松ハーモニー	35	17	4
パワー浜松	76	49	-	
山梨第1グループ	甲府	111	58	24
	富士吉田	59	37	11
	大月	18	7	6
	都留	40	20	4
	河口湖	29	19	7
	富士吉田西	44	19	4
山中湖	17	11	-	
山梨第2グループ	甲府北	22	15	13
	山梨	49	32	12
	甲府西	34	22	6
	甲府東	25	17	12
	甲府シティ	43	30	16
甲斐	15	8	5	
山梨第3グループ	甲府南	70	34	13
	笛吹	32	20	10
	市川大門	11	5	4
	南アルプス	15	9	11
	身延	11	9	4
	韮崎	14	11	1
	北杜	15	12	1
	甲斐シティー	26	20	5
	甲斐の郷	16	2	2
合計	2,919	1,637	629	

※2020年7月1日現在

2020 - 2021年度（荻原年度）地区補助金プロジェクトと補助金申請額

数	クラブ名	プロジェクト名	事業総額	補助金申請額	補助金決定額
1	伊東	伊東市ふるさと教室の支援、協力	400,000	200,000	200,000
2	三島	三島の歴史と地域をインターアクト生と学ぶ	210,000	100,000	100,000
3	下田	ロータリーふれあいの池整備	220,000	100,000	100,000
4	熱海南	ウイリス対策消毒液配布	579,000	100,000	100,000
5	伊豆中央	伊豆の国市子ども食堂支援事業	440,000	200,000	200,000
6	三島西	三島西RC・苗栗扶輪社 交換中学生（送り出し）	900,000	200,000	200,000
7	伊東西	伊東市立保育園4園への図書の寄贈	400,000	200,000	200,000
8	せせらぎ三島	カンボジアへの児童教育・生活環境向上支援事業	450,000	200,000	200,000
9	沼津	視覚障害児・者就労支援事業所ティンクルに障害者用のテーブル等の支援	100,000	98,000	98,000
10	富士山吉原	奨学会（富士市内公立高校生に奨学金支援）	1,220,000	300,000	300,000
11	富士	岩本山公園 植樹	500,000	200,000	200,000
12	富士宮	富士宮ロータリークラブ奨学会	940,000	200,000	200,000
13	御殿場	未来への手紙	250,000	125,000	125,000
14	沼津柿田川	清水町内の公園にベンチ及び胴付長靴を寄贈	230,000	100,000	100,000
15	裾野	裾野市立中央公園 ベンチ設置	400,180	100,000	100,000
16	長泉	（仮）「米山梅吉翁について」 看板設置	400,660	150,000	150,000
17	富士宮西	富士宮西ロータリークラブカップ少年サッカー大会	200,000	100,000	100,000
18	新富士	第15回 サイエンスプロジェクト in Fuji	500,000	200,000	200,000
19	沼津西	沼津西ロータリークラブカップ U-8サッカー大会	212,800	100,000	100,000
20	静岡	静岡大学教育学部附属特別支援学校 衛生環境向上支援	474,000	230,000	230,000
21	清水	静岡県立大学留學生支援	600,000	300,000	300,000
22	静岡東	静岡県立静岡南部特別支援学校児童支援事業	169,983	80,000	80,000
23	清水北	ソフトボールを通じて青少年に夢と希望を与える	200,000	100,000	100,000
24	駿河	野球大会 剣道大会を通じた青少年育成プロジェクト	200,000	100,000	100,000
25	静岡西	大谷崩れの森創造	600,000	200,000	200,000
26	清水西	フィリピンネグロス島支援事業	500,000	200,000	200,000
27	清水中央	静岡市立清水桜が丘高校の生徒と地域住民との交流支援	450,000	200,000	200,000
28	静岡北	静岡北ロータリークラブ杯バスケットボール大会	456,550	228,275	228,275
29	焼津	焼津市「地域の子供を育てる事業」衛生・健康見守り支援事業	1,050,000	300,000	300,000
30	島田	島田市教育センターにiPadを寄贈	300,000	150,000	150,000
31	掛川	道徳普及プロジェクト	221,000	110,000	110,000
32	焼津南	焼津南ロータリークラブ45周年記念杯新春バレーボール大会	450,000	200,000	200,000
33	袋井	袋井ロータリークラブ会長杯 U9サッカー大会	300,000	150,000	150,000
34	掛川グリーン	中東遠総合医療センターへの車椅子寄贈	444,320	200,000	200,000
35	浜松	理工系進路を目指す女子中高生のためのワークショップ	800,000	400,000	400,000

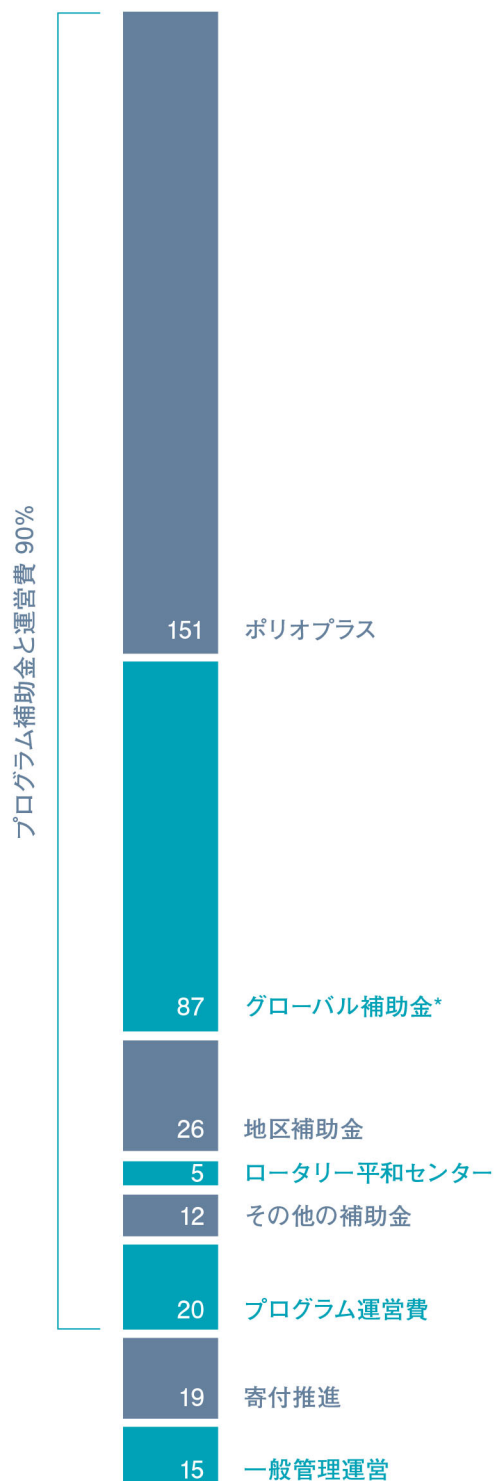
36	浜松東	浜松子ども塾プロジェクト		700,000	300,000	300,000
37	浜松南	子ども食堂利用の子どもたちの食育学習		800,000	400,000	400,000
38	浜松西	地元地域ボランティア人学校生への教育支援奉仕事業		900,000	300,000	300,000
39	浜北	美園中央公園クリーンキャンペーン		249,500	120,000	120,000
40	浜名湖	湖西少年少女発明クラブの事業支援		300,000	150,000	150,000
41	浜松中	浜松江之島高等学校環境ポスター審査会		500,000	200,000	200,000
42	浜北伎倍	浜松市浜北区学童野球教室及び健康管理事業		230,000	100,000	100,000
43	浜松ハーモニー	浜松ハーモニーRC奨学事業（外国人学校の生徒支援）		550,000	200,000	200,000
44	パワー浜松	こども「未来」プロジェクト スカウト体験バス		520,000	260,000	260,000
45	甲府	高等支援学校の生徒達にスポットライトを当てて豊かな心を育む事業		1,100,000	500,000	500,000
46	富士吉田	富士吉田商工会議所優良従業員表彰 勤続30年表彰（ロータリー会長表彰）		70,000	35,000	35,000
47	大月	大月桃太郎伝説のPRと「桃太郎サミットin大月」への支援		200,000	100,000	100,000
48	河口湖	地元教育機関への支援プロジェクト		200,000	100,000	100,000
49	富士吉田西	高校進学における就学困難な家庭に対する支援		510,000	200,000	200,000
50	甲府北	児童発達支援センターつじが崎学園に平太鼓の寄贈		466,400	200,000	200,000
51	山梨	市立図書館ロータリー文庫（洋書）の充実と 読み聞かせ会の実施		310,000	150,000	150,000
52	甲府西	甲府西ロータリークラブ 障がい者福祉事業		550,000	200,000	200,000
53	甲府東	甲府東RCカップ第16回山梨オープンジュニアバドミントン大会		468,000	200,000	200,000
54	甲府シテイ	山梨県に在住する東日本大震災被災者への支援		450,000	200,000	200,000
55	甲斐	2020関東・東海・信越オープンドッジボール大会の開催		213,800	100,000	100,000
56	甲府南	お気に入りの一着を手にする体験が得られる子供貧困対策事業		750,000	300,000	300,000
57	笛吹	市内小学校へ図書寄贈及び中学ソフトボール大会支援		400,000	200,000	200,000
59	南アルプス	南アルプス桃源郷マラソン大会サポート事業		210,000	100,000	100,000
60	韮崎	甲斐・韮崎前環境美化運動		336,500	100,000	100,000
61	甲斐シテイ	甲斐市内中学生交流野球大会開催		420,000	200,000	200,000
62	甲斐の郷	桜と子供の成長を見つめ憩える場所を造る		205,000	100,000	100,000
	合計		27,377,693	11,136,275	11,136,275	

※余剰分に関しては、本年度は臨時費とさせていただきます。

ほぼすべての国で活動する世界的な団体として、ロータリーは資金管理を慎重に行っています。

財務

ロータリー財団の 支出：3億3500万ドル



*返金その他調整後

国際ロータリー 収支報告

2018会計年度と2019会計年度（6月期）（単位1000米ドル）

会計年度累計	2018年6月	2019年6月
収入		
会費	\$73,330	\$77,713
投資純益	3,265	2,092
支援業務その他の活動	27,803	33,404
収入合計	\$104,398	\$113,209
支出		
運営費	\$79,394	\$79,213
支援業務その他の活動	19,471	26,944
一般剰余金	1,196	667
支出合計	\$100,061	\$106,824
為替差損	\$(1,080)	\$(617)
純資産の増加	\$3,257	\$5,768
純資産（期首）	\$136,839	\$140,096
純資産（期末）	\$140,096	\$145,864

ロータリー財団 収支報告

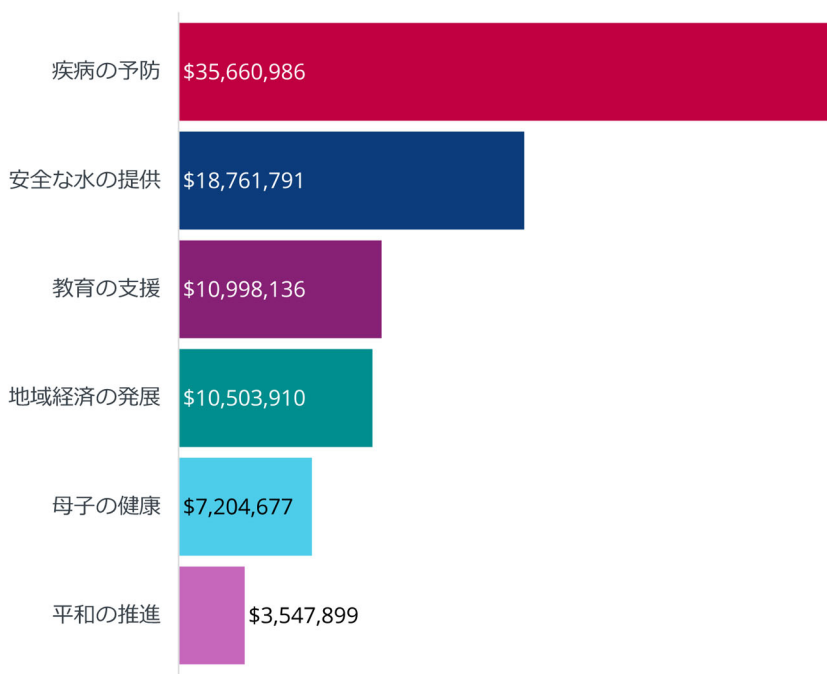
2018会計年度と2019会計年度（6月期）（単位1000米ドル）

会計年度累計	2018年6月	2019年6月
収入		
寄付	\$341,135	\$321,901*
投資純益	55,322	37,975
補助金その他の活動	1,751	640
収入合計	\$398,208	\$360,516
支出		
プログラム補助金	\$277,225	\$281,091
プログラム運営費	24,892	20,275
寄付推進	20,117	19,049
一般管理運営	5,304	14,790
支出合計	\$327,538	\$335,205
為替差損	\$(1,608)	\$(661)
誓約未収入金のための予備費	\$(440)	\$(1,673)
純資産の増加	\$68,622	\$22,977
純資産（期首）	\$1,058,676	\$1,127,298
純資産（期末）	\$1,127,298	\$1,150,275

*予測収入5840万ドルおよびポリオプラス基金振替の額1490万ドルは含まれていません。

ロータリー財団の補助金

2018会計年度、ロータリー財団は1,306口、合計86,677,399ドルの補助金を授与しました。以下は分野の内訳です。



11年連続でロータリー財団に最高の評価

記事：国際ロータリー

この度、慈善団体の格付けを行う米国の独立機関、チャリティーナビゲーター (Charity Navigator) が、ロータリー財団に11年連続で最高の4つ星評価を与えました。

この評価は、ロータリー財団の健全な財務状況および説明責任 (アカウンタビリティ) と透明性へのコミットメントが認められたことによるものです。

「このような評価をいただきとても光栄です」とロータリー財団のロン・パートン管理委員長。「この結果は、世界中の大勢のロータリアンの努力と献身を物語っています。ロータリアンは、寄付が意図された通りに活用されると信じていますし、実際に寄付は世界をより良くするために生かされています」

チャリティーナビゲーターは、財団による寄付の活用、プログラムと奉仕の実施、効果的なガバナンスと組織の透明性を高く評価しました。



ロータリー財団重要用語集

アーチ・クラumpf賞

Arch Klumph Award

1917年、アトランタ大会で初めてロータリー財団の構想を発表したアーチ・クラumpf R I 会長の名によって1969年設定された賞で、ロータリー財団に特にすぐれた貢献をなした者に与える賞。記念楯または感謝状が贈られます。

アーチ C. クラumpf・ソサエティ

Arch C. Klumph Society

ロータリー財団に対し累計25万ドル以上の寄付者が、ソサエティのメンバーとなります。メンバーには感謝状が贈られ、その写真が R I 世界本部内のアーチ・クラumpf・ギャラリーに飾られます。

遺贈 Bequest

遺言または他の資産計画の中にロータリー財団恒久基金に寄付する旨記したことをロータリー財団に文書で通知すると、ベネファクターとして認証されます。

遺贈友の会 Bequest Society

10,000ドル以上の遺贈を約束すると遺贈友の会のメンバーとなります。

大口寄付者 Major Donor

年次寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付などのすべての現金寄付額の総計が10,000ドルに達すると大口寄付者と呼ばれます。

覚書 (MOU)

Memorandum of Understanding

補助金制度に参加するために守らなければならない条件。銀行口座、書類の保管、財務管理などが詳細にわたって説明されている文書です。

覚書に記載されている条件を承諾し同意することにより地区は参加資格を得て、補助金を申請できるようになります。

クラブの覚書 (MOU)

Memorandum of Understanding

この文書は、補助金制度に参加するクラブのために、ロータリー財団が作成した正式な覚書 (MOU) です。

クラブと地区の間の同意書であるこの文書には、ロータリー財団補助金の活動および資金の管理を

適切に行うためにクラブが取る対策が説明されています。

この文書を承認することにより、クラブはすべての財団の要件を遵守することに同意することになります。

計画年度 A Planning Year

地区補助金の下でのビジネス・サイクルは2年で、計画年度と実施年度があります。地区補助金を申請する年度が計画年度で、補助金を受け取り、プロジェクトに使っていくのが実施年度です。

月次寄付報告 (MCR)

Monthly Contribution Report

地区内各クラブの寄付一覧表。Member Access Portal で見ることができます。

公益財団法人ロータリー日本財団

Public Interest Incorporated Foundation, Rotary Foundation Japan

新公益法人関連3法 (法人法、認定法、整備法) が、2008年12月1日に施行されるのを受け、これまでの特定非営利活動法人ロータリー日本財団を2008年9月10日に解散し、2009年6月に一般財団法人ロータリー日本財団を登記しました。

更に、一般財団法人ロータリー日本財団は、2010年12月24日に公益認定を受け、「公益財団法人ロータリー日本財団」となりました。

恒久基金 Permanent Fund

収益だけを財団プログラムの支援に使う基金です。その目標は、財団への毎年の支援を補い、それによって少なくともある程度のプログラム活動を行い、また、将来における人類の緊急のニーズに応える新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にしようとするものです。ベネファクターになることは、恒久基金支援の第一歩と言えます。

国際財団活動資金 (WF) World Fund

年次寄付と恒久基金利息の50%が、シェア・システムの下で、国際財団活動資金 (WF) に充てられます。ロータリー財団管理委員会がその使途を決定します。

国際問題研究のためのロータリー平和センター Rotary Centers for International Studies in Peace and Conflict Resolution

正式名称は、「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリー・センター」です。

ロータリー財団の主要な教育並びに平和の優先事項です。財団は、世界の名門7大学と提携し、六つのロータリー・センターにおいて、最高2年間、国際問題、平和、紛争解決を研究するロータリー平和フェローを後援します。

財団の使命

The Mission of the Foundation

2007年規定審議会で、ロータリー財団の使命に関する決議が提出され、採択されました。

財団の使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

「財団の友」会員

Rotary Foundation Sustaining Member

「財団の友」会員は、年次プログラム基金へ毎年100ドル以上寄付する人のことです。

財団のプログラム

Programs of The Rotary Foundation

ロータリー財団のプログラムは大きく分けて3種類です。(第3項を第2項の一部とすることもあります)

1. ロータリー財団地区補助金 (Rotary Foundation District Grant)
2. ロータリー財団グローバル補助金 (Rotary Foundation Global Grants)

その他に、主要なプログラムとして、ロータリー平和フェローシップとポリオ・プラス、ポリオ・プラス・パートナーがあります。

参加資格条件 Qualification

補助金プログラムに参加するためには、地区はロータリー財団の覚書(MOU)とロータリー財団の関連指針を承認し従い、専用の振込口座を設け、会計制度を決めて、参加資格を得なければなりません。

クラブの参加資格条件は、同じく覚書を承認し、地区の開催する補助金の研修を受けることによって得られます。

識字率向上月間 Literacy Month

識字能力の向上を図る目的で、1997-98年度RIの強調事項に指定されました。

さらに1997年7月の会合で理事会は、毎年、7月を識字率向上月間と決めました。

地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結する、という観点から、この月間中に読み書き、計

算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域共同体、ローターアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、その他の既存のプログラムを通して、識字率向上に取り組んでいきます。

識字率の向上 Literacy Promotion

RCは、地域および世界の識字率を高めるよう奨励しています。地域内のあらゆる人が、一般的に言って幸福に暮らすために読み書きの能力が重要であること、また、地域の識字水準が生活水準に直結することについて、すべてのロータリアンの理解を深めること、地域社会で、または他国の地域社会で識字率向上の必要性に取り組むプロジェクトに着手するよう全クラブに奨励しています。

使途指定寄付 Restricted Giving

財団への寄付は、金額を問わず、特定の財団プログラムを指定して寄付することができます。

実施年度 Implementation Year

地区補助金の下でのビジネス・サイクルは2年で、計画年度と実施年度があります。

地区補助金を申請する年度が計画年度で、補助金を受け取り、プロジェクトに使っていくのが実施年度です。

職業研修チーム

Vocational Training Team

グローバル補助金においては、チームは重点分野の範囲内で、自らの職業能力を高めるか、他の人に専門的研修を行うかのいずれかでなければなりません。

職業研修チームは明確な目的を持ち、意図、持続性のある成果、準備計画を提案するものでなければなりません。

経験豊富なロータリアンのチーム・リーダーとロータリアン以外の3人以上のチーム・メンバーで構成します。総数についての上限はありません。年齢制限もありません。

メンバーは、重点分野の一つに経験や専門知識があり、できれば重点分野に関連する専門職務が事業に雇用されていることが望まれます。

重点分野 areas of focus

補助金制度の下でのグローバル補助金の実施分野は次の六つの重点分野に限られています。

- 平和と紛争予防/解決
- 水と衛生設備
- 疾病予防と治療
- 基礎教育と識字率向上

- 母子の保健
- 経済開発と地域開発
ロータリー財団は優先事項として、この分野に専念していきます。

人道的補助金プログラム Humanitarian Grants PROGRAM

人道的補助金プログラムは、RCと地区が、世界中の人々の生活を向上する地域社会プロジェクトの開発に利用できる資源を提供します。人道的補助金プログラムは、次の四つの共通の特徴をもつ選択肢を提供します。人道的補助金を通じて資金が支給されるプロジェクトは、次の事項を満たさなければなりません。

- ロータリアンの積極的かつ直接的な参加
- ロータリーのネットワークのさらなる充実の支援
- 健全な資金管理の実証
- 人道的ニーズの提起

税制上の優遇措置と寄付金 Tax Advantages and Contributions

2011年7月1日より、公益財団法人ロータリー日本財団へ振込まれる寄付金は、すべて税制上の優遇措置の対象となります。

地区財団活動資金（DDF） District Designated Fund

年次寄付と恒久基金収益の50%が地区財団活動資金(DDF)となります。地区が用途決定に発言権を持っています。

地区ロータリー財団セミナー District Rotary Foundation Seminar

地区ロータリー財団セミナーの目標は、ロータリー財団プログラムへの参加と財政的支援を増やすことにあります。セミナーは、教育的であると同時に意欲を高めるものでなければなりません。

このセミナーには3つの目的があります。

- ロータリー財団についてロータリアンを教育すること。
- ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と責任感を一人ひとりが持つようにすること。
- ロータリー財団に対する誇りを培うこと。

年次基金（一般寄付） Annual Fund

財団に毎年行う用途を指定しない一般寄付のこと。2011年10月より、重点分野を指定できる寄付も含まれます。

年次報告 Annual Report

ロータリー財団の会計報告。寄付金がどのように使われたかを知るのによい資料です。

毎年1月に直前年度の年次報告が出版され、ホームページから閲覧できます。

また、日本事務局に注文することもできます。

一人当たりの寄付 Per Capita Giving

1997年10月の管理委員会決定で、一人当たりの寄付の算出方法を寄付総額を会員数で割る方式から年次プログラム基金を会員数で割る方式に変更しました。一人当たり100ドルが目標とされています。

100パーセント財団の友クラブ 100%RFSM Club

クラブ会員全員が年次寄付を100ドル以上寄付したクラブ。毎年度終了後(8月)にバナーが贈られます。申請する必要はなく、自動的に認証されます。

100パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブ 100% Paul Harris Fellow Club

全会員がポール・ハリス・フェローになったクラブで、特別のバナーが贈られます。

ベネファクター Benefactor

金額を問わず、ロータリー財団恒久基金へ寄付する旨を遺書または資産計画に書きしるしたことを財団に通知した人。

または米貨1,000ドル以上を恒久基金に無条件寄付した人をベネファクターといいます。

2カ国の内、一つはプロジェクトを実施する国(援助受領国)にあり、これをホストパートナーと言います。

ポリオ・プラス Polio Plus (PP)

ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに加わり、1980年代初めに史上最も意欲的なプログラムを計画しました。世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムです。1985年にポリオ・プラス・プログラムを設けました。

ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的としているためポリオ・プラスと呼んでいましたが、この「プラス」は最初の頃と意味が変わって現在は、世界的なポリオ撲滅運動がもたらした遺産のことを指しています。

ポリオ・プラス・パートナー (PPP)

Polio Plus Partners

ワクチン以外の用途に対する寄付で、これはポリオ・プラス寄付と異なり、基金としてプールせず、すぐ使います。

ロータリー財団はオープン・プロジェクト一覧表(援助を待っているプロジェクトの一覧表)を作成し、寄付者が何に使用したいか具体的プロジェクトを選べるようにしています。

2012年6月30日まで、ポリオ・プラス・パートナーの寄付は、受け付けていません。

ポリオ撲滅 Polio Eradication

世界保健機関、世界証明委員会、ロータリーは、ポリオ撲滅という言葉、野生株のポリオ・ウイルスの伝播をとめるという意味で用いています。2007年の規定審議会、ポリオの撲滅を国際ロータリーの最優先の目標とすることが承認、確認されました。

ポール・ハリス・ソサエティ

Paul Harris Society

ロータリー財団に毎年1,000ドル以上寄付する人が、ポール・ハリス・ソサエティの会員資格を有します。

ポール・ハリス・フェロー (PHF)

Paul Harris Fellow

ロータリー財団に年次寄付または用途指定寄付、あるいはその合計で1,000ドル以上寄付した人。

毎年あなたも 100 ドルを

Every Rotarian, Every Year (EREY)

ロータリアンひとりひとりに毎年100ドルの年次寄付を。

このためのニュースレターが毎月発行されています。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

Multiple Paul Harris Fellow

年次寄付または用途指定寄付、あるいはその合計で1,000ドル以上寄付した人は、その後1,000ドル寄付するごとにマルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。

2,000ドルから9,000ドルまで8段階あります。

大口寄付者と異なり、現金を寄付せず、認証ポイントを受け取っても、現金と認証ポイントの総額でマルチプル・ポール・ハリス・フェローになることができます。

ロータリー・カード

2002-03年度より、日本でもロータリー・カードが発行されました。

2007年9月末に5,000人を上回りました。

2007年10月からカード購入額の0.3%がロイヤルティとして日本事務局に振り込まれています。

また、ゴールドカードについては、年1人3,000円が振り込まれています。

カードで買物をしますと、ポイントがつかます。そのポイントを貯めて1,000ポイント(5,000円分)になりますと、そのポイントをロータリー財団に寄付できます。買物をした個人の年次寄付として実績に加算されます。

ロータリー財団

The Rotary Foundation (TRF)

ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチC.クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくらう」と提案したことに始まり、1928年に国際大会でロータリー財団と名付けられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となりました。

ロータリー財団グローバル補助金

Rotary foundation Global Grants

グローバル補助金は、六つの重点分野(平和と紛争予防/解決、疾病予防と治療、母子の保健、水と衛生設備、基礎教育と識字率向上、経済開発と地域開発)を支援します。グローバル補助金は、クラブ&地区計画補助金とパッケージ・グラントの2種類があります。

ロータリー財団地区補助金 (DG)

Rotary Foundation District Grant

地区補助金は、DDFの50%以内を使って、地区が財団に一括申請します。

補助金は、財団より地区に一括交付されます。

クラブは、地区に個別プロジェクトを申請し、地区より補助金を受領します。

地区の裁量で、人道的、教育的、社会奉仕的プロジェクト等に活用できます。

国内の事業にも国際レベルの事業にも使用できます。補助金額にミニマムの規定はありません。

2020-2021年度 ローターリー財団委員会構成

ロータリー財団監査委員会	
	中山正邦(浜松南)
専門職	杉本忠重(静岡)
専門職	宮内正敏(三島)

補助金小委員会	
委員長	森田英貴(浜松南)【静岡5G担当】
副委員長	中村幸夫(焼津南)【静岡4G担当】
副委員長	中川則昭(甲府北)【山梨2G担当】
委員	野木秀明(静岡西)・地区補助金担【静岡3G担当】
委員	渡辺康一郎(大月)・地区補助金担【山梨1G担当】
委員	高木基(三島)・グローバル補助金担当【静岡1G担当】
委員	小野隆(南アールプス)・グローバル補助金担当【山梨3G担当】
委員	大澤能孝(富士宮)・奨学金担当【静岡2G担当】

ロータリー財団委員会	
委員長	松村友吉(焼津)
副委員長	望月啓行(静岡)(大口寄付担当)
副委員長	深澤由美子(甲斐)(ロータリーカード担当)

地区財団資金管理小委員会	
委員長	杉山純一(静岡南)

資金推進小委員会	
委員長	池戸智之(浜松)

〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル 5F TEL:054-274-2622 FAX:054-274-2623 E-mail: drfc@ri2620.gr.jp
--

ポリオプラス小委員会	
委員長	山口勝義(浜松ハーモニー)
副委員長	清水厚博(甲斐)

平和フェローシップ・学友小委員会	
委員長	曾根真人(富士山吉原)

国際ロータリー第 2620 地区

ロータリー財団委員会 事務局

〒420 - 0853 静岡市葵区追手町 2-12

安藤ハザマビル 5F

TEL:054-274-2622

FAX:054-274-2623

E-mail: drfc@ri2620.gr.jp